

J. A. C. E. T.

社团法人

日本臨床工学会会誌

Journal of Japan Association for Clinical Engineering Technologists

2010
No.39

(社) 日本臨床工学会

第20回日本臨床工学会抄録集



第 20 回日本臨床工学会 及び 平成 22 年度社団法人日本臨床工学技士会総会

テーマ 『臨床工学技士の存在意義を考える』

■会期：平成 22 年 5 月 22 日（土）～5 月 23 日（日）

■会場：パシフィコ横浜会議センター

■学会長：小林 力（昭和大学藤が丘病院臨床工学部）

■主 催：社団法人日本臨床工学技士会・一般社団法人神奈川県臨床工学技士会

■後援：神奈川県

横浜市

社団法人 神奈川県医師会

社団法人 神奈川県病院協会

社団法人 神奈川県看護協会

社団法人 神奈川県臨床衛生検査技師会

社団法人 神奈川県放射線技師会

社団法人 神奈川県栄養士会

社団法人 神奈川県理学療法士会

社団法人 神奈川県作業療法士会

神奈川県医療専門職連合会

社団法人 日本医師会

日本移植学会

日本医療機器学会

特定非営利活動法人 日本医工学治療学会

一般社団法人 日本医療機器工業会

日本医療器材工業会

日本医療機器産業連合会

日本呼吸療法医学会

日本手術医学会

日本心臓病学会

一般社団法人 日本人工臓器学会

日本腎不全看護学会

日本臨床麻酔学会

社団法人 全国腎臓病協議会

社団法人 全日本病院協会

社団法人 日本栄養士会

社団法人 日本看護協会

社団法人 日本呼吸器学会

社団法人 日本循環器学会

社団法人 日本腎臓学会

社団法人 日本生体医工学会

社団法人 日本臓器移植ネットワーク

社団法人 日本透析医会

社団法人 日本透析医学会

社団法人 日本泌尿器科学会

社団法人 日本放射線技師会

社団法人 日本麻醉科学会

社団法人 日本理学療法士協会

社団法人 日本臨床衛生検査技師会

社団法人 大阪府看護協会

社団法人 電子情報技術産業協会

社団法人 東京都看護協会

特定非営利活動法人 日本胸部外科学会

特定非営利活動法人 日本心臓血管外科学会

特定非営利活動法人 日本不整脈学会

一般社団法人 日本アフェレシス学会

一般社団法人 日本救急医学会

一般社団法人 日本高気圧環境・潜水医学会

一般社団法人 日本集中治療医学会

財団法人 医療機器センター

財団法人 国際医療技術交流財団

日本体外循環技術医学会

日本臨床工学技士教育施設協議会

※順不同

■総会：平成 22 年 5 月 23 日（日）11：00～12：30

パシフィコ横浜会議センター 5 階 503 会議室

■第 20 回日本臨床工学会

学会事務局：東芝林間病院 臨床工学科内 担当：常山 重人

〒252-0302 神奈川県相模原市上鶴間 7-9-1

TEL : 042-742-3577 FAX : 042-742-3640

E-mail : jacet20_info@pcoworks.jp

第 20 回日本臨床工学会実行委員

学 会 長：小林 力（昭和大学藤が丘病院）

副 学 会 長：小川 浩之（横浜栄共済病院）

実行委員長：小林 剛志（平塚共済病院）

学術委員長：中川孝太郎（横浜栄共済病院）

事 務 局 長：常山 重人（東芝林間病院）

会 計：鎌田 智宏（相模原クリニック）

平成22年度社団法人日本臨床工学技士会総会

会期 平成22年5月23日(日)

時間 11:00~12:30

**会場 パシフィコ横浜会議センター
5階 503会議室**

「第 20 回日本臨床工学会」および 「平成 22 年度社団法人日本臨床工学技士会総会」の 開催にあたり

社団法人 日本臨床工学技士会 会長
川崎 忠行

会員各位

記念すべき「第 20 回日本臨床工学会」および「平成 22 年度総会」が、平成 22 年 5 月 22 日（土）、23 日（日）に、横浜市にて小林力学会長の下、一般社団法人神奈川県臨床工学技士会役員の皆様方のご尽力を頂き開催される運びとなりましたこと、心から御礼申し上げます。

さて今回の学会は臨床工学技士の歴史に残る大きな節目の年であります。

その第一の理由として、長年の重要課題として取り組んでまいりました、臨床工学技士業務指針の見直しについては厚生労働省「チーム医療の推進に関する検討会報告書」につきのように掲載されました。

“臨床工学技士制度の施行当初は安全かつ適切な業務実施を確保する観点から、業務指針を示す必要性は高かったが、制度施行から 20 年以上が経過し、十分に制度が成熟した現状においては、職能団体や関係学会の自主的な取組によって、医療技術の高度化等に対応しながら適切な業務実施が確保されるべきである。こうした観点から、当該業務指針については、廃止も含め、今後の取扱いを検討すべきである”

また上記に加え、人工呼吸器の操作の際の痰の吸引や留置カテーテルからの採血なども認める方向性が示されました。

これらを受けて、新たな業務指針の検討を行うために、当会を含めて 20 関係学会・団体から構成する「臨床工学合同委員会」を本年 3 月に立ち上げ、既に検討に入っています。

第二の理由としては、4 月の診療報酬改正において、医療機器安全管理料 1 の増額、透析液水質確保加算の新設、呼吸ケアチーム加算の新設、更に経皮的中隔心筋焼灼術に関する施設基準に常勤の臨床工学技士が要件としてあげられ、臨床工学技士の活用、そして雇用の拡大が大きく図られることが期待されます。

第三の理由としては、昨年の総会においてご賛同頂きました、公益法人改革による、公益社団法人へ向けての第 1 歩として、当会の組織形態を代議員制に移行する年です。この公益社団法人の認可のハードルは非常に高く、また認可後も政府の管理が厳しいものとなりますが、今後、臨床工学の発展のための基盤として避けて通ることはできません。

臨床工学技士の置かれている環境は他の医療関係職種に比べて公的な支援は今まで一切なく、ま

た今後も期待することはできません。このような中で、臨床工学の更なる高揚を図り、国民医療に貢献するためには、臨床工学教育基金や研修センターの創設など、積極的な事業展開が必要あります。この観点からも公益社団法人化を推し進めるために各位のご支援をお願いする次第です。

以上のような大きな変革は、この20年間の活動実績が背景にあることは言うまでもありません。また臨床工学技士の評価は国民が決めることであり、21世紀の輝ける職業を目標に“臨床工学技士の存在意義を考える”をテーマとした第20回の日本臨床工学会は、時節を得た有意義な企画であります。

各位におかれましては万障お繰り合わせのうえ、多数のご参加をお待ち申し上げます。

第 20 回日本臨床工学会開催のご挨拶

学会長 小林 力

(一般社団法人 神奈川県臨床工学技士会会长)

(社) 日本臨床工学技士会会員ならびに、各都道府県臨床工学技士会会員の皆様には、(社) 神奈川県臨床工学技士会の活動に多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、「第 20 回日本臨床工学会及び平成 22 年度日本臨床工学技士会総会」を平成 22 年 5 月 22 日(土)、23(日)にパシフィコ横浜会議センター(神奈川県横浜市)で開催することは、神奈川県臨床工学技士会として大変名誉であると共に、成功させなければならない重圧と責任の重さを痛感しております。

学会開催まで 1 カ月余りとなりましたが、会員の皆様にとって有意義な学会運営を目指し、役員一同準備を進めております。是非多くの会員の皆様のご参加を、心よりお待ち申し上げます。

さて、本学会のメインテーマは「臨床工学技士の存在意義を考える」といたしました。

臨床工学技士が世に誕生して 23 年が経過し、日本臨床工学会も今回で節目を迎えます。現在の医療現場での臨床工学技士の現状とこれまでの経過を振り返り、今後の臨床工学技士の在り方を会員の皆様と共に再考するべき時期と考え、今回のテーマと致しました。

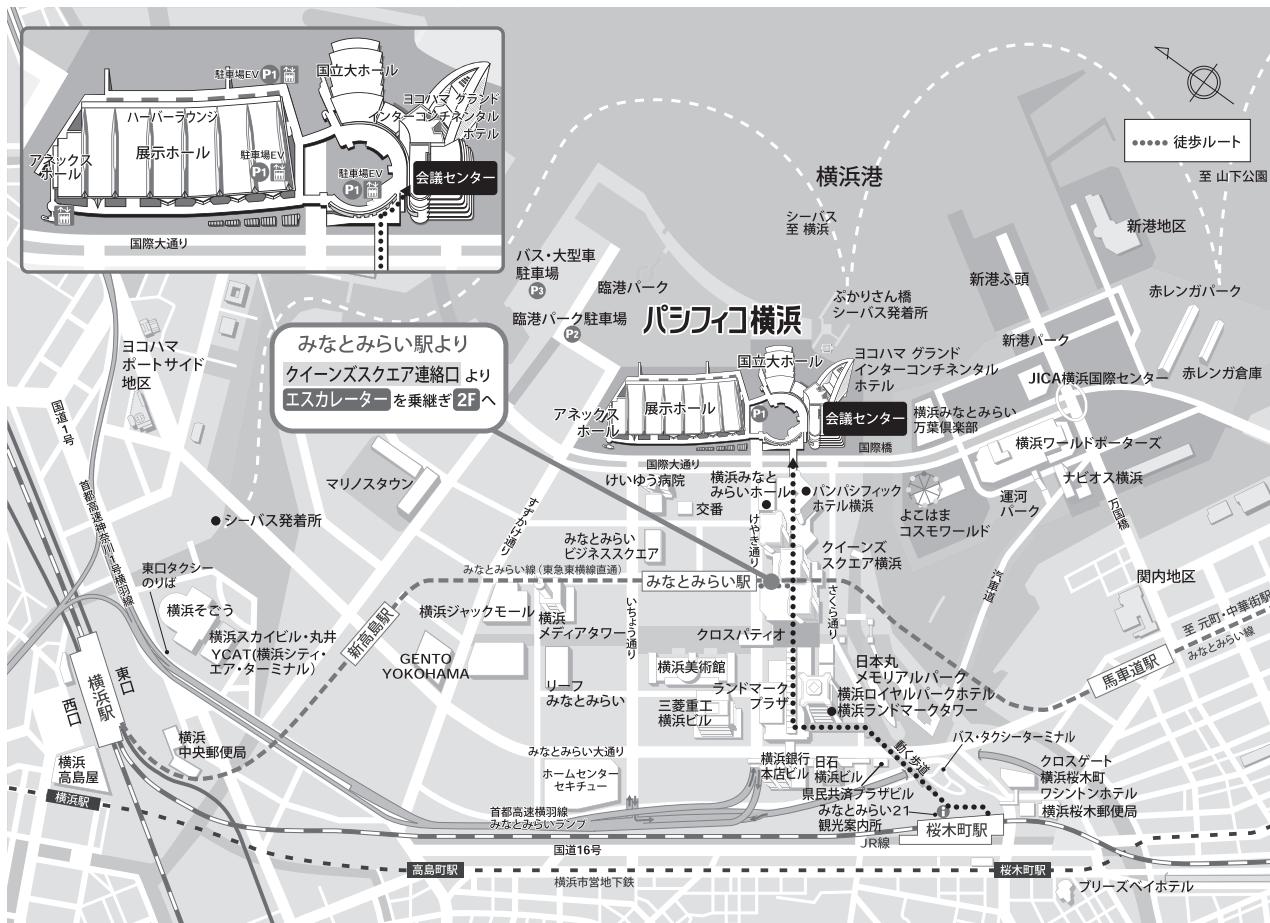
臨床工学技士法が制定された当時は、代謝・循環・呼吸の三本柱での業務が主たる業務として挙げられていました。しかし、現在では我々臨床工学技士が担う業務は、日々進歩する医療の中で大きく変わろうとしており、多くの施設で戸惑いが生じていることと思います。本学会ではその方向性を考えるきっかけになればと考えております。

本学会のシンポジウムは、これから臨床工学技士を背負って立つ若い臨床工学技士(Y ボード)の企画したものと、立ち会い規制に関する 2 テーマとし、ワークショップは各業務分野の 9 テーマを予定しています。また一般演題座長には各都道府県臨床工学技士会よりご推薦を頂き、できる限り若い方にお願いをいたしました。市民公開講座・基調講演・教育講演については医学の世界にとどまらない内容で企画しておりますので、是非お聞き頂き、今後の業務の上でお役立て頂きたいと考えております。

一般演題数については、演題締め切りを延長することなく 292 演題の応募を頂き、ワークショップ・シンポジウムについても多数のご応募を頂きましたことを、運営スタッフを代表致しまして御礼申し上げます。また、学会開催にあたり、ご尽力を賜りました各都道府県臨床工学技士会、関東連絡協議会の会員の皆様と関係各位の皆様に厚く御礼申し上げます。そして、ご協賛頂きました企業、施設各位のご厚情に深謝致します。

最後になりましたが、第 20 回大会の成功を願い、会員各位の多数のご参加をお願いすると共に、ご協力とご理解をお願い致します。

交通のご案内



●交通のご案内

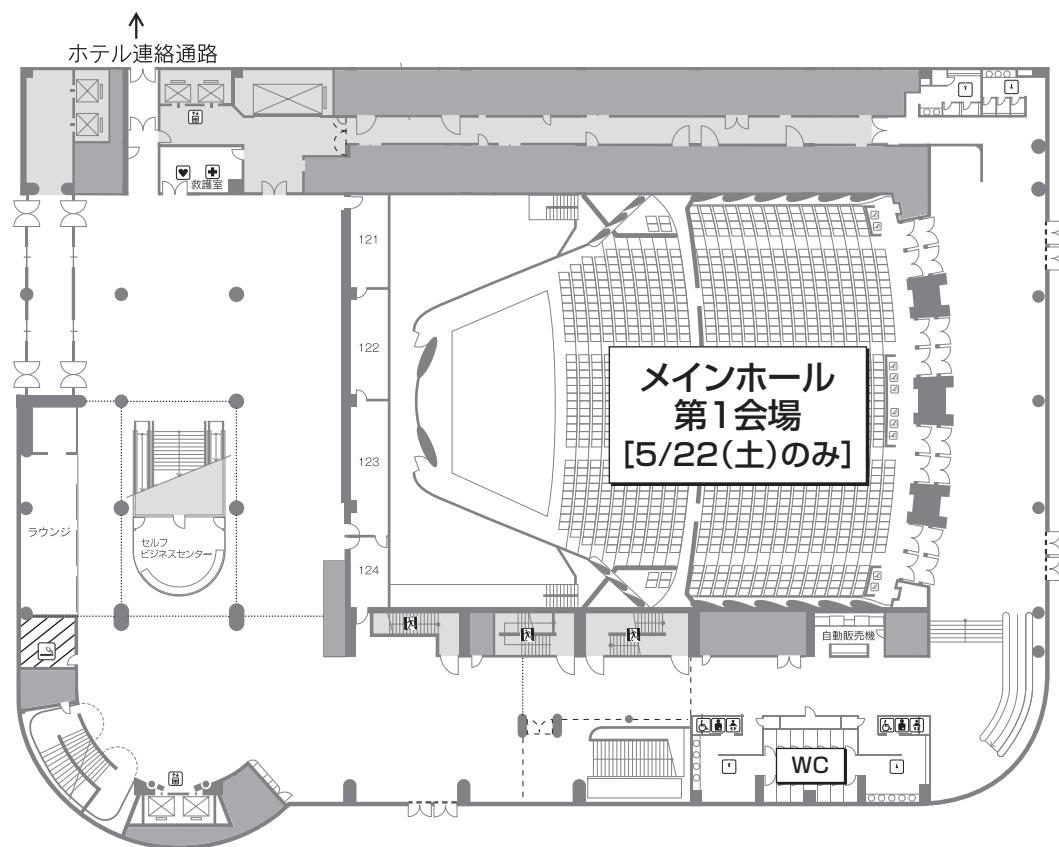
電車で	渋谷駅	東急東横線:特急→みなとみらい線 (東急東横線・みなとみらい線 直通運転)	横浜駅	計30分	みなとみらい駅	徒歩-----3分
	新宿駅	JR湘南新宿ライン		3分		
電車・新幹線で	東京駅	JR東海道線	タクシー (東口ホルダ地下2Fより)	25分	JR京浜東北線	徒歩-----7分
	品川駅	京浜急行:快速特急		15分		
新横浜駅	JR横浜線	3分 菊名駅 東急東横線 6分 (みなとみらい線直通) JR横浜線 (京浜東北線経由東神奈川駅乗り換え)	JR京浜東北線	15分	桜木町駅	バス 7分 タクシー 5分
	横浜市営地下鉄	JR横浜線 (みなとみらい駅まで10分)		15分		
飛行機で	成田空港	JR成田エクスプレス 90分 リムジンバス 90分 (パシフィコ横浜行きは120分)	横浜駅 YCAT (横浜ハイエイターミナル) (横浜駅東口)	みなとみらい線 3分	みなとみらい駅	徒歩-----3分
	羽田空港	京浜急行 24分 リムジンバス 30分		タクシー (東口 ホルダ地下2Fより)		

■お車ご利用の場合						
[東京方面より]						
首都高速	横羽線 横浜公園方面	▶▶▶	横羽線みなとみらいランプ	約3分	▶▶▶	パシフィコ横浜
	湾岸線(鶴見つばさ橋、ベイブリッジ経由) 横浜方面	▶▶▶	横羽線みなとみらいランプ	約3分	▶▶▶	
[関西・中部方面より]						
東名高速横浜町田IC	保土ヶ谷バイパス 狩場方面 約20分	▶	狩場IC	▶	高速神奈川3号 狩場線横浜方面 約10分	▶ 横羽線みなとみらいランプ 約3分

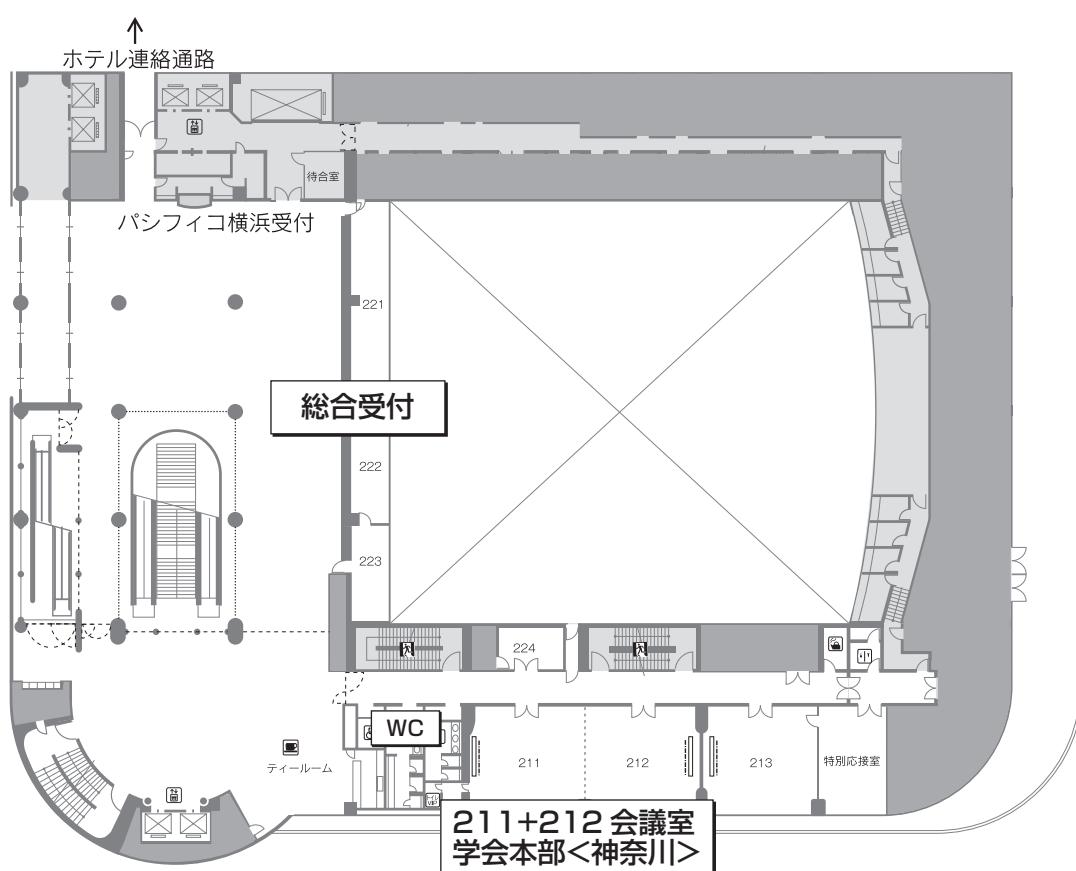
■駐車場						
P1 みなとみらい公共駐車場 ☎045-221-1301	1,200台(普通車)	24時間利用可	料金(30分): 260円	*平日割引 8:00~23:00 最大1,300円	*深夜割引 0:00~6:00 半額	
P2 臨港パーク駐車場 ☎045-221-2175	100台(普通車)	10:00~21:00	料金(1時間): 500円			
P3 バス・大型車駐車場 ☎045-221-2102 (お問い合わせ 10:00~21:00)	40台(バス・大型車)	24時間利用可 (入出庫は7:00~22:00)	料金(30分): 500円	*深夜割引 22:00~7:00 半額		

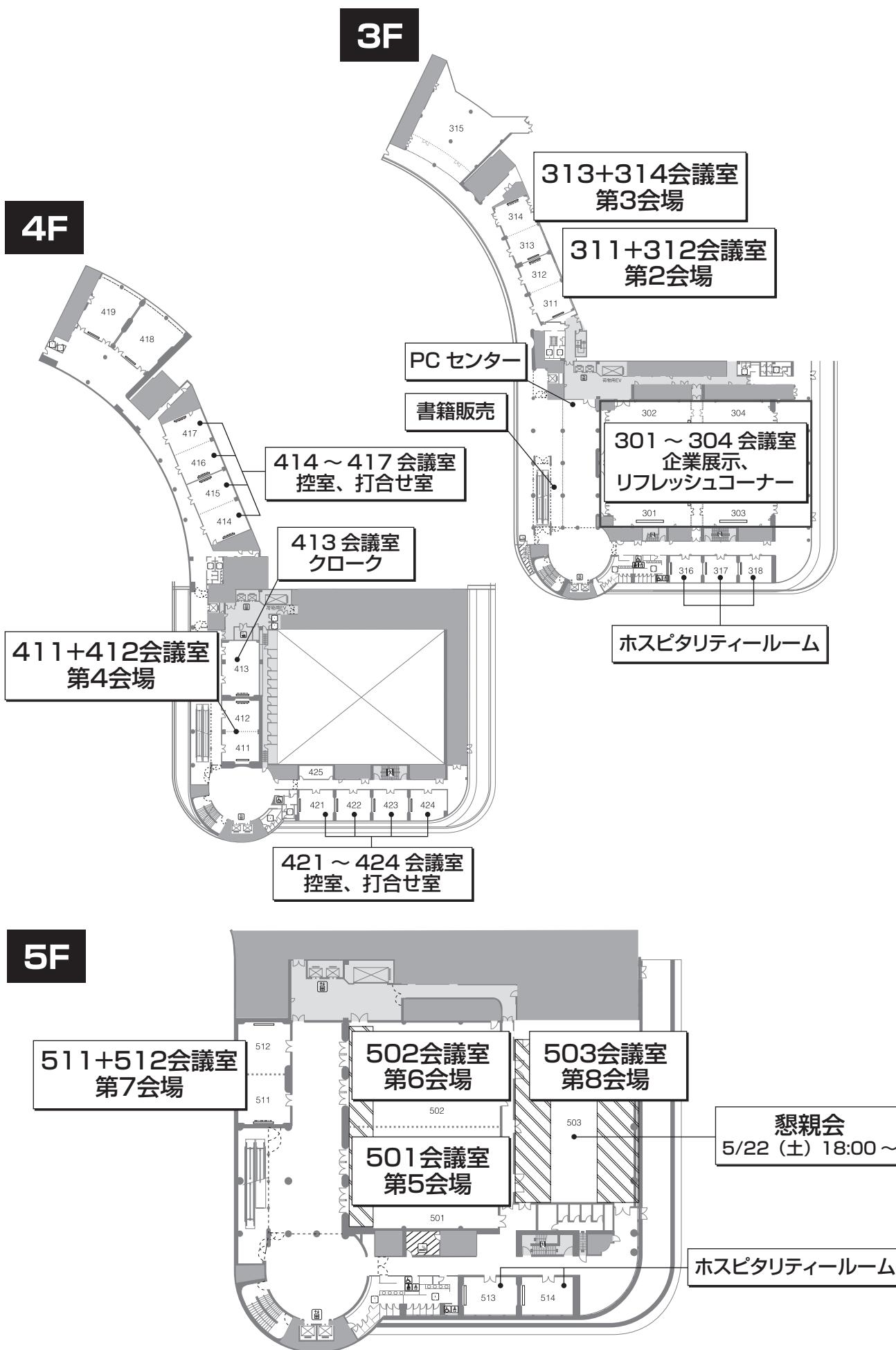
会場のご案内

1F



2F





▼ 参加者へのご案内とお願ひ ▼

■会期・会場のご案内

会期：平成 22 年 5 月 22 日（土）～5 月 23 日（日）

会場：パシフィコ横浜会議センター

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1

URL : <http://www.pacifico.co.jp/>

下記時間以外は対応できませんので予めご了承ください。

5 月 22 日（土）7:30～20:00

5 月 23 日（日）7:30～16:00

連絡先電話番号 045-221-2155（総合案内）

■参加受付及び開始時間

参加受付場所：パシフィコ横浜会議センター

第 1 日目 5 月 22 日（土）受付時間 8:15～18:00

第 2 日目 5 月 23 日（日）受付時間 8:15～14:30

■参加費

正会員 8,000 円

非会員 12,000 円

学 生 2,000 円

*市民公開講座は参加費不要です。

*抄録集は学会当日に受付にて 1 部 1,000 円にて販売しております。

*受付を円滑にする為、本誌に綴じこんだ「参加登録書」を事前にご記入の上「総合受付」までご持参ください。

■懇親会

日時：5 月 22 日（土）18:00～20:00 予定

会場：パシフィコ横浜会議センター 5F 503 会議室 第 8 会場

会費：5,000 円

定員：250 名

*懇親会の受付は 5 月 22 日（土）総合受付付近（パシフィコ横浜会議センター 2F）にて 8:15 より開始いたします。定員となり次第締切りとさせていただきますので予めご了承ください。

■駐車場

会場の地下駐車場をご利用ください。

30 分 260 円、1 時間 520 円（深夜割引 午前 0 時～6 時は半額）

全 1188 台まで駐車可能ですが、当日車での来場者が多く予想されますので、できる限り、公共の交通機関でのご来場にご協力いただきますようお願い申し上げます。

※学会としては、割引き及び無料サービス対応は行いません。

■クローケ

パシフィコ横浜会議センター 4F 403 会議室にクローケを設けておりますのでご利用ください。
なお、貴重品、機械製品（PC 等）はお預かりできませんのでご了承ください。

■ランチョンセミナー整理券

ランチョンセミナーは混雑が予想される為、事前に整理券を配布いたします。
整理券の配布は下記の時間と場所にて行います。定員となり次第締め切らせていただきますので予めご了承ください。
受付場所 パシフィコ横浜会議センター 2F 「総合受付」付近
受付時間 1日目 8:15~11:45
2日目 8:15~11:45

■討論についてのお願い

討論者は会場内の討論用のマイクの前にお待ちいただき、挙手をお願いいたします。
討論の際は所属、氏名を述べた後に要点のみを簡潔にご発言いただき、できるだけ多くの方のご発言が得られるようご配慮ください。

■呼び出し

会場内での呼び出しは原則として行いません。

■紛失物

忘れ物、落し物はパシフィコ横浜会議センター 2F 「総合受付」にてお預かりいたします。

■託児室

お子様を連れてご参加される方は、会場にある託児室を無料でご利用いただけます。
利用に際しては、事前の申込が必要です。
申込方法等の詳細は下記ホームページよりご確認ください。
託児室申込ホームページ：<http://www.jacet20.jp/takuji.html>

■その他注意事項

- ・会場内の撮影・録音・録画は禁止です。
- ・館内は禁煙です。指定の喫煙スペースをご利用ください。

▼ 司会、座長へのお願い ▼

■特別講演、基調講演、教育講演、第20回大会記念講演、シンポジウム、ワークショップ、委員会報告、市民公開講座、一般演題の司会及び座長へのお願い

※ランチョンセミナーは該当いたしません

1) 座長受付時間、場所について

ご担当セッション開始30分前までにパシフィコ横浜会議センター2F「総合受付」にある「座長受付」で受付をお済ませください。

2) 会場内での待機について

ご担当セッション開始15分前までには座長席付近にあります「次座長席」へご着席ください。

3) 進行について

担当セッションは必ず時間内に終了いただきますよう、格段のご配慮をお願いいたします。

▼ 発表者へのご案内とお願い ▼

■発表者（ランチョンセミナー含む）へのお願い

1) 発表時間について

【特別講演、教育講演、基調講演、シンポジウム、第20回大会記念講演、ワークショップ、委員会報告、市民公開講座、ランチョンセミナーの発表者】

上記の各発表時間は個別にご連絡いたします。

座長の進行のもと時間厳守のほどよろしくお願ひいたします。

【一般演題の発表者】

一般演題は1演題10分（発表7分 質疑3分）となります。

座長の進行のもと時間厳守のほどよろしくお願ひいたします。

2) 発表者受付時間、場所について

ご発表時間の30分前までには必ず下記の場所にて受付、試写をお済ませください。

受付場所：パシフィコ横浜会議センター 3階 ホワイエ「PCセンター」

受付時間：1日目 8:15～17:30（2日目の発表者は13:00～受付開始します）

2日目 8:15～14:30

3) 会場内での待機について

ご担当セッション開始10分前までには発表演台付近にあります「次演者席」へご着席ください。

4) 発表データ作成について

- ・発表形式

ご発表はデジタルプレゼンテーションのみとなります。

また、発表中のスライド操作に関しましては演台のキーボード、マウスをご使用の上ご自身でお願いいたします。

- ・PC環境

事務局ではPCを以下の環境でご用意いたします。

OS: Windows XP

Power Point Ver. : 2003、2007

※お持込みデータはPower Point Ver. : 2003での作成を推奨いたします。できる限り2003のバージョン

ンに変換の上お持込みください。また、Windows Vista、Macintosh はご用意しておりませんので必ずご自身のパソコンをお持込みください。また、動画を使用する場合も、必ずご自身のパソコンをお持込みください。

・発表データ持込みについて

発表データは USB フラッシュメモリもしくは、CD-ROM (CD-R) のメディアでお持込みください。

※MO、フロッピーディスク等他メディアでは受付できませんので予めご了承ください。

・発表 PC 持込みについて

持込み PC の接続は MiniD-Sub15 ピン 3 列コネクターとなります。パソコンのコネクター端子の形状をよくご確認の上、上記以外の場合は接続端子をご持参ください。また、外部ディスプレイ出力が可能であることを必ず事前にご確認の上お持込みください。

また、以下の注意点を必ずご確認の上お持込みください。

*バッテリー切れを防ぐ為、必ず電源アダプターをご持参ください。

*スクリーンセーバー、省電力は OFF の状態でお持込みください。

*再起動の可能性がございますので、パスワード入力が不要な状態でお持込みください。

・データ事前送付について

1 日目の午前中は受付の混雑が予想される為、1 日目（5 月 22 日）の 9：00～10：00 の間にご発表の方は下記事務局まで 5 月 14 日（金）までに発表データを事前にご送信ください。

※事前に送信された場合でも必ずバックアップとしてデータをご持参の上、当日 PC センターにて試写をお願いいたします。

【データ送信先】

運営事務局メールアドレス jacet20_info@pcoworks.jp

※データ容量が 2GB を超える場合は USB メディアもしくは CD-R に保存の上、下記運営事務局までご郵送ください。

(株) ピーシーオーワークス 担当：遠藤

〒101-0053 東京都千代田区神田美士代町 9 番地 日経タイプビル 4F

・動画、音声の利用について

音声はご利用できません。動画はパワーポイントのスライド上でご使用ください。動画のデータは Windows Media Player で再生できるものを推奨いたします。

また、動画をご使用の場合は必ずご自身の PC をお持込みください。

・作成推奨フォント、文字サイズ

文字化けを防ぐこと及びスライドの見易さを考慮し、下記フォントと文字サイズを推奨いたします。

フォント：日本語…MS ゴシック/MSP ゴシック/MS 明朝/MSP 明朝

　　外国語…Century/Century Gothic

文字サイズ：28 ポイント以上を推奨いたします。

・データの取り扱いについて

各発表者からお預かりした発表データは、事務局の責任において学会終了後に破棄いたします。

第20回日本臨床工学会開催プログラム 日程

第1日目：5月22日（土）

会場	第1会場 1F メインホール	第2会場 3F 311+312会議室	第3会場 3F 313+314会議室	第4会場 4F 411+412会議室
	開会式 8:50~9:00			
9:00	シンポジウム1 9:00~11:00 臨床工学技士の存在意義を考える 司会 守澤隆仁 長谷川静香	教育・その他① (シミュレーション教育・その他) 9:00~10:00 O-001 ~ O-006 座長 泉 暢英 小川晋平	管理・ソフト・解析装置等・ その他①(管理) 9:00~10:00 O-026 ~ O-031 座長 新 秀直 西堀英城	水処理・清浄化等・ 透析液①(清浄化) 9:00~10:00 O-068 ~ O-073 座長 小澤賢一郎 竹林千尋
10:00		教育・その他②(臨床実習) 10:00~11:00 O-007 ~ O-012 座長 堀 純也 高橋純子	呼吸①(業務・安全管理) 10:00~11:00 O-032 ~ O-037 座長 辛島隆司 石塚后彦	水処理・清浄化等・ 透析液②(清浄化) 10:00~11:00 O-074 ~ O-079 座長 猿渡倫治 光村勝也
11:00	教育講演 11:00~12:00 救急医療の全体最適化を目指して 講師 小倉真治 司会 中川孝太郎	委員会報告 11:00~12:00 『「医療安全全国共同行動」最終報告』 行動目標5:輸液シリジポンプ・ 人工呼吸器の安全な操作と管理 講師 高木政雄 司会 本間 崇 佐藤景二	呼吸②(サポートチーム・在宅) 11:00~12:00 O-038 ~ O-043 座長 田中正次 高山秀和	安全対策①(業務) 11:00~12:00 O-080 ~ O-085 座長 勝又尚紀 熊代佳景
12:00	ランチョンセミナー1 12:15~13:05 座長 芝本 隆 講師 吉本 裕 橋本貴仁 共催 味の素製薬(株)	ランチョンセミナー2 12:15~13:05 座長 中川孝太郎 講師 栗田康生 共催 日本光電工業(株)	ランチョンセミナー3 12:15~13:05 座長 住田晋一 講師 今井 靖 共催 セント・ジュード・メディカル(株)	ランチョンセミナー4 12:15~13:05 座長 川崎忠行 講師 内野順司 共催 ニプロ(株)
13:00				
14:00	市民公開講座 13:20~14:50 三浦の海の魚たち 講師 樽澤 洋 司会 小川浩之	セミナー 13:20~15:20 透析液清浄化基礎セミナー Q&A解説 ～その疑問をみんなで 講師・司会 内野順司	管理・ソフト・解析装置等・ その他②(安全・管理) 13:20~14:20 O-044 ~ O-049 座長 岡村龍也 岩城隆宏	水処理・清浄化等・ 透析液③ 13:20~14:20 O-086 ~ O-091 座長 富永潤史 長谷川進
15:00	第20回大会 記念講演 14:50~16:20 日本に於ける 今後のチーム医療 講師 田林暁一 司会 川崎忠行		教育・その他③ (搬送・海外支援他) 14:20~15:20 O-050 ~ O-055 座長 岩尾昌之 岡本智之	透析①(その他) 14:20~15:20 O-092 ~ O-097 座長 佐野貴広 伊藤理一
16:00		心臓カテーテル① 15:20~16:20 O-013 ~ O-018 座長 加藤 諭 木村好文	手術室関連業務① 15:20~16:20 O-056 ~ O-061 座長 古平 聰 前田充徳	その他(技工学活動他) 15:20~16:10 O-098 ~ O-102 座長 本多 仁 尹 成哲
17:00	基調講演 16:30~18:00 講師 広瀬真人 司会 小林 力	心臓カテーテル② (カテーテルアブレーション) 16:20~17:30 O-019 ~ O-025 座長 宮野高明 丹生浩司	手術室関連業務② 16:20~17:20 O-062 ~ O-067 座長 中西清隆 安孫子明博	安全対策③(保守) 16:10~16:40 O-103 ~ O-105 座長 森屋勝己 山本 桂 集中治療関連業務 16:40~17:10 O-106 ~ O-108 座長 中村博一 要田宏樹
18:00				
19:00				

第20回日本臨床工学会開催プログラム 日程

第5会場 5F 501会議室	第6会場 5F 502会議室	第7会場 5F 511+512会議室	第8会場 5F 503会議室	展示会場 3F 301~4会議室	会場
透析② (バスキュラアクセス) 9:00~10:00 O-109 ~ O-114 座長 引地 誠 小北克也	呼吸③ (トラブル・トラブルと対策) 9:00~10:00 O-152 ~ O-157 座長 野口裕幸 寺島敏明	ワークショップ1 9:00~10:30 臨床工学技士の国際協力の現状 とJACET国際交流委員会の 方向性 司会 山下芳久 杉浦陽一	ワークショップ4 9:00~10:30 循環器業務展開は スペシャリストで、 ジェネラリストで 司会 見目恭一		9:00
透析③ (性能評価) 10:00~11:00 O-115 ~ O-120 座長 菅井 聰 山根 明	ペースメーカー① (業務関連) 10:00~11:00 O-158 ~ O-163 座長 松岡厚志 森下達雄				10:00
透析④ 11:00~12:00 O-121 ~ O-126 座長 福安賢吾 宮野勝利	ペースメーカー② 11:00~12:00 O-164 ~ O-169 座長 大谷太一 飯窪 譲	ワークショップ2 10:30~12:00 HBOの新しい適応疾患への アプローチ 司会 高倉照彦	ワークショップ5 10:30~12:00 在宅人工呼吸器に どう携わるのか 司会 田口彰一 瓜生伸一		11:00
					12:00
ランチョンセミナー 5 12:15~13:05 座長 米山 貢 講師 倉賀野隆裕 共催 ガンプロ(株)	ランチョンセミナー 6 12:15~13:05 座長 峰島三千男 講師 田岡正宏 共催 (株) ジェイ・エム・エス		ランチョンセミナー 7 12:15~13:05 座長 小野淳一 講師 森實篤司 共催 中外製薬(株)		13:00
透析⑤ (急性血液浄化) 13:20~14:20 O-127 ~ O-132 座長 大久保淳 高畑智浩	呼吸④ (在宅・NPPV) 13:20~14:10 O-170 ~ O-174 座長 笹山真一 寺谷裕樹	ワークショップ3 13:20~14:50 HBOにおける資格認定期制と 生涯教育 司会 山崎功晴	ワークショップ6 13:20~14:50 ペースメーカー関連業務における 臨床工学技士の存在意義 ～施設内臨床工学技士 だからこそ出来ること～ 司会 高垣 勝 井野裕也	企業展示 書籍販売 リフレッシュ コーナー 10:30~17:30	14:00
透析⑥ 14:20~15:20 O-133 ~ O-138 座長 五十嵐洋行 田中 健	管理・ソフト・解析装置等・ その他③ (管理・ソフト) 14:10~15:00 O-175 ~ O-179 座長 近藤敏哉 小南裕司		補助循環① 14:50~15:40 O-192 ~ O-196 座長 大平順之 別所郁夫	ワークショップ7 14:50~16:20 人工呼吸療法における 臨床工学技士の存在意義 司会 相島一登 野口裕幸	15:00
透析⑦ 15:20~16:20 O-139 ~ O-144 座長 平田朋彦 重矢直彦	ペースメーカー③ 15:00~16:00 O-180 ~ O-185 座長 高橋秀暢 菊池雄一		補助循環② 15:40~16:10 O-197 ~ O-199 座長 仲地勝弘		16:00
透析⑧ (アフェレシス) 16:20~17:30 O-145 ~ O-151 座長 千原伸也 藤堂 敦	安全対策② 16:00~17:00 O-186 ~ O-191 座長 村中秀樹 五十嵐茂幸		呼吸⑤ (呼吸管理) 16:10~17:20 O-200 ~ O-206 座長 宗万孝次 栗原大典		17:00
				懇親会 18:00~20:00	18:00
					19:00

第20回日本臨床工学会開催プログラム 日程

第2日目：5月23日（日）

会場	第2会場 3F 311+312会議室	第3会場 3F 313+314会議室	第4会場 4F 411+412会議室	第5会場 5F 501会議室
9:00	呼吸⑥ (加温加湿) 9:00~9:50 O-207 ~ O-211 座長 翁 孝充 岩崎共香	安全対策④ (保守) 9:00~10:00 O-225 ~ O-230 座長 三島博之 宮本征士	教育・その他④ (ME機器システム) 9:00~10:00 O-245 ~ O-250 座長 横山嘉寛 岡本 長	
10:00	呼吸⑦ (使用経験・開発) 9:50~10:40 O-212 ~ O-216 座長 三輪泰之 堀井 亮	人工心肺① 10:00~11:00 O-231 ~ O-236 座長 千葉美樹 武島智隆	教育・その他⑤ (災害) 10:00~10:50 O-251 ~ O-255 座長 岡本歌織 岡田 悟	ワークショップ8 9:00~11:00 血液浄化領域における 臨床工学技士の役割と期待 司会 山家敏彦 金子岩和
11:00				
12:00				
13:00	ランチョンセミナー 8 12:35~13:25 座長 高橋 進 講師 長宅芳男 松本和広 共催 日機装（株）	ランチョンセミナー 9 12:35~13:25 座長 山家敏彦 講師 大谷浩一 共催 東レ・メディカル（株）	ランチョンセミナー 10 12:35~13:25 座長 関口 敦 講師 百瀬直樹 共催 ニプロ（株）	ランチョンセミナー 11 12:35~13:25 座長 川崎忠行 講師 小松原明哲 栗原 怜 共催 協和発酵キリン（株）
14:00	ペースメーカー④ 13:40~14:20 O-217 ~ O-220 座長 今村博明 藤原弘昌	人工心肺② 13:40~14:30 O-237 ~ O-241 座長 泉 祐一 小島英樹	管理・ソフト・解析装置等・ その他④ (管理・ソフト) 13:40~14:20 O-256 ~ O-259 座長 石丸啓太 木原将人	透析⑨ (無酢酸透析液) 13:40~14:20 O-263 ~ O-266 座長 中村拓生 泉田拓也
15:00	ペースメーカー⑤ 14:20~15:00 O-221 ~ O-224 座長 小久保領 佐藤邦昭	手術室関連業務③ 14:30~15:00 O-242 ~ O-244 座長 三原弘史	管理・ソフト・解析装置等・その他⑤ (管理・ソフト) 14:20~14:50 O-260 ~ O-262 座長 田代嗣晴	透析⑩ (無酢酸透析液) 14:20~15:10 O-267 ~ O-271 座長 志村貴之 高橋満彦
16:00				
17:00				
18:00				
19:00				

第20回日本臨床工学会開催プログラム 日程

第6会場 5F 502会議室	第7会場 5F 511+512会議室	第8会場 5F 503会議室	展示会場 3F 301~4会議室	会場
				9:00
ワークショップ9 9:00~11:00 血液浄化分野における 大規模地震対策 ～東海地震を勘案して～ 司会 西村和典 武田稔男	ワークショップ10 9:00~11:00 臨床工学技士における カテーテル治療室業務の ガイドライン 司会 安野 誠 又吉 徹	シンポジウム2 9:00~10:30 立会い規制後の現状 司会 高倉照彦		10:00
				11:00
		総会 味の素 AWARD 11:00~12:30	企業展示 書籍販売 リフレッシュ コーナー 9:00~14:30	12:00
	ランチョンセミナー 12 12:35~13:25 座長 関川智重 講師 今本治彦 共催 オリンパスメディカルシステムズ(株)			13:00
透析⑪ (評価・その他) 13:40~14:20 O-272 ~ O-275 座長 新田展矢 森 諭司	高気圧酸素療法 13:40~14:20 O-280 ~ O-283 座長 山口信彦	特別講演 今だから語れる …21世紀に生きる実務者へ 13:40~15:10 講師 橋本政弘 司会 常山重人		14:00
透析⑫ (評価) 14:20~15:00 O-276 ~ O-279 座長 刈込秀樹 廣瀬 猛	管理・ソフト・解析装置等・ その他⑥ (その他) 14:20~15:10 O-284 ~ O-288 座長 大宮裕樹 東條圭一	閉会式 15:10~15:20		15:00
			展示撤去 14:30~18:10	16:00
				17:00
				18:00
				19:00

⌚ 5月22日（土）◆第1日目 第1会場

シンポジウム1 臨床工学技士の存在意義を考える 9:00~11:00

司会 守澤隆仁（医療法人あけぼの会 花園病院 透析室）

長谷川静香（名古屋大学医学部附属病院 医療技術部 臨床工学・歯科部門）

S1-1 “次なる臨床工学技士像を目指して” アンケート結果

熊切こず恵、出口英二

日本臨床工学技士会 Yボード

S1-2 臨床工学技士の現状そして未来図

野川悟史

昭和大学横浜市北部病院 MEセンター

S1-3 臨床工学技士の存在意義を考える—先輩カラ学ブモノ。後輩へ伝エルコト—

吉岡 淳

山形大学医学部附属病院 臨床工学部

S1-4 理想の臨床工学技士を目指すために継承したいこと

矢島真知子、小田正美

琉球大学医学部附属病院 ME 機器センター

S1-5 Senior の立場から—37年間医療現場を経験して—

那須野修一

横浜労災病院 臨床工学部

教育講演 11:00~12:00

司会 中川孝太郎（横浜栄共済病院）

救急医療の全体最適化を目指して

小倉真治

岐阜大学大学院 医学系研究科 救急・災害医学分野

市民公開講座 13:20~14:50

司会 小川浩之（横浜栄共済病院）

三浦の海の魚たち

樺澤 洋

京急油壺マリンパーク 館長

第20回大会記念講演 14:50~16:20

司会 川崎忠行 (社団法人日本臨床工学技士会 会長)

日本に於ける今後のチーム医療

田林暁一

東北厚生年金病院 病院長

基調講演 16:30~18:00

司会 小林 力 (昭和大学藤が丘病院)

広瀬真人

株式会社本田技術研究所 基礎技術研究センター 主席研究員

⌚ 5月22日(土) ◆第1日目 第2会場

委員会報告 11:00~12:00

司会 本間 崇 (医療法人善仁会 本部 医療安全推進部)

『「医療安全全国共同行動」最終報告』行動目標 5a : 輸液・シリンジポンプの安全な操作と管理

高木政雄^{1,3)}、佐藤景二^{2,3)}、田口彰一³⁾、本間 崇^{1,2,3)}、川崎忠行²⁾

茅ヶ崎徳洲会総合病院 臨床工学科¹⁾、(社)日本臨床工学技士会²⁾、

医療安全全国共同行動技術支援部会³⁾

『「医療安全全国共同行動」最終報告』行動目標 5b : 人工呼吸器の安全な操作と管理

高木政雄³⁾、佐藤景二^{1,2,3)}、田口彰一³⁾、本間 崇^{1,2,3)}、川崎忠行²⁾

静岡市立静岡病院 医療技術部 臨床工学科¹⁾、(社)日本臨床工学技士会²⁾、

医療安全全国共同行動技術支援部会³⁾

セミナー 13:20~15:20

司会 内野順司 ((社)日本臨床工学技士会 透析液等 WG)

透析液清浄化基礎セミナー Q&A 解説～その疑問をみんなで

内野順司¹⁾、山本英則¹⁾、江村宗郎¹⁾、川崎忠行²⁾

(社)日本臨床工学技士会 透析液等 WG¹⁾、(社)日本臨床工学技士会²⁾

5月22日(土) ◆第1日目 第7会場

ワークショップ1 臨床工学技士の国際協力の現状とJACET国際交流委員会の方向性

9:00~10:30

司会 山下芳久 (埼玉医科大学)

杉浦陽一 (東京女子医科大学八千代医療センター 臨床工学室)

WS1-1 ウガンダにおける国際協力の経験と臨床工学技士の将来展望

福田恵子

株式会社アブリシア ME事業部

WS1-2 ソロモン諸島における国際協力の経験と臨床工学技士の将来展望

柏原勝彦

医療法人 社団 光生病院 臨床工学部

WS1-3 医療機器関連におけるJICAの現状と臨床工学技士への期待

渡部晃三

独立行政法人国際協力機構 人間開発部 保健行政課

WS1-4 JACET国際交流委員会の方向性とJICAとの協力体制

杉浦陽一

東京女子医大 八千代医療センター 臨床工学室

ワークショップ2 HBOの新しい適応疾患へのアプローチ 10:30~12:00

司会 高倉照彦 (亀田総合病院 ME室)

WS2-1 重症虚血肢に対するHBOの有効性について

村野祐司¹⁾、小澤仁美¹⁾、萩原 陽¹⁾、木村常雄¹⁾、大浦紀彦²⁾、萬 智子³⁾、齋藤英昭¹⁾

杏林大学 医学部付属病院 臨床工学室¹⁾、杏林大学医学部付属病院 形成外科²⁾、

杏林大学医学部付属病院 麻酔科・高気圧酸素治療室³⁾

WS2-2 胸骨切開術後の深部胸骨創傷感染に対する高気圧酸素治療

岡崎史紘¹⁾、柳下和慶¹⁾、外川誠一郎¹⁾、加藤 剛²⁾、小島泰史³⁾、小宮正久¹⁾、芝山正治⁴⁾、

眞野喜洋¹⁾

東京医科歯科大学 医学部附属病院 高気圧治療部¹⁾、東京医科歯科大学 医学部附属病院 整形外科²⁾、

東京海上日動 メディカルサービス株式会社 第二医療部³⁾、駒沢女子大学 人間健康学部⁴⁾

WS2-3 高気圧酸素治療保険適応外疾患対応への取り組み

山口信彦¹⁾、植田江利子¹⁾、小田倉雅浩¹⁾、梅木秀一¹⁾、田村 修¹⁾、大石 哲²⁾

(株)東芝 東芝病院 ME部¹⁾、(株)東芝 ラグビー部²⁾

WS2-4 出血性ショックのラットに対する高気圧酸素の治療効果

砂川昌秀¹⁾、上江洲安之²⁾、井上 治¹⁾

琉球大学 医学部 附属病院 高気圧治療部¹⁾、血液浄化療法部²⁾

WS2-5 糖尿病および末梢動脈疾患による難治性潰瘍・壊死治療の進歩—再生医療と高気圧酸素療法の併用療法—

松田範子¹⁾、黄川田信允¹⁾、野口裕幸¹⁾、宮本正章²⁾、木山輝郎³⁾、内田英二³⁾、坂本篤裕^{1,4)}
日本医科大学付属病院 ME 部¹⁾、日本医科大学 内科・再生医療科²⁾、日本医科大学 外科³⁾、
日本医科大学 麻酔科⁴⁾

ワークショップ 3 HBO における資格認定制度と生涯教育 13:20~14:50

司会 山崎功晴 (チェスト (株) 呼吸ケア事業部 岡山ベンチレータセンター)

WS3-1 高気圧酸素治療分野の認定資格—当院の現状から—

東智恵子
東京都保健医療公社荏原病院

WS3-2 高気圧酸素療法における資格認定制度と生涯教育

黄川田信允¹⁾、松田範子¹⁾、野口裕幸¹⁾、坂本篤裕²⁾
日本医科大学 付属病院 ME 部¹⁾、日本医科大学 付属病院 麻酔科²⁾

WS3-3 臨床高気圧酸素治療技師の資格更新を経験して

小松利明¹⁾、小森恵子²⁾
医療法人財団 正明会 山田記念病院¹⁾、東海大学医学部付属病院 診療技術部 臨床工学技術科²⁾

WS3-4 高気圧酸素治療における認定技師の役割

間中泰弘、山地美千代、守屋賢志、久野由乃、梶尾 恵、若松 浩、濱田政彰、山之内康浩、
水谷 瞳、吉里俊介、藤田千秋、天野陽一、田井憲一
医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院 臨床工学科

WS3-5 高気圧酸素治療に従事する医療者を対象とする認定制度の現状と要望

小森恵子
東海大学 医学部付属病院 診療技術部 臨床工学技術科

⌚ 5月22日（土）◆第1日目 第8会場

ワークショップ 4 循環器業務展開はスペシャリストで、ジェネラリストで

9:00~10:30

司会 見目恭一 (埼玉医科大学 保険医療学部 医用生体工学科)

WS4-1 東京女子医大臨床工学部の組織体制と技士育成について

峰島三千男
東京女子医科大学臨床工学科

WS4-2 循環器業務展開はスペシャリストで、ジェネラリストで…当院の業務指針を中心につれて

河田修一
市立旭川病院 臨床工学室

WS4-3 人工心肺はスペシャリストが操作すべきか？

百瀬直樹、山越理恵、小久保領、梅田千典、堀口敦史、安田 徹、岩本典生、早坂秀幸、
中島逸郎

自治医科大学附属さいたま医療センター 臨床工学部

WS4-4 循環器関連業務における今後の業務展開について

柏 公一、村澤孝秀、長江祐吾、谷田勝志、久保 仁、玉井久義
東京大学医学部附属病院 医療機器管理部

WS4-5 高いスキルと仕事量に応じた柔軟な組織体制の模索

関口 敦
埼玉医科大学国際医療センター

ワークショップ5 在宅人工呼吸器にどう携わるのか 10：30～12：00

司会 田口彰一（新橋病院 ME 管理室）

瓜生伸一（北里大学東病院 ME センター部）

WS5-1 在宅人工呼吸器にどう携わるのか～北里大学東病院での経験から～

瓜生伸一
北里大学東病院 ME センター部

WS5-2 在宅人工呼吸療法（HMV）にどう携わるのか（ディーラー側から観た在宅療法機器と臨床工学技士の役割）

山崎功晴
チエスト株式会社 呼吸ケア事業部

WS5-3 HMV の安全管理と臨床工学技士の関わり

北川美帆¹⁾、末延史江¹⁾、家竹幸治¹⁾、赤丸悦子¹⁾、筒井孝典¹⁾、中島正之¹⁾、徳井 武¹⁾、
高石基貴¹⁾、藤井 耕¹⁾、田中義浩²⁾
信和会 川端診療所 臨床工学部¹⁾、信和会 川端診療所 内科²⁾

WS5-4 曇の部屋で人工呼吸器は稼働中～当院における HMV 業務～

阿部博樹
こやぎ内科

WS5-5 NPPV の訪問看護の現状と課題

伊藤美江子¹⁾、河野由美¹⁾、清水弘子¹⁾、舟田弥生¹⁾、小崎洋子²⁾

帝人在宅医療株式会社 望星台訪問看護ステーション厚木¹⁾、帝人在宅医療株式会社 在宅医療推進部²⁾

WS5-6 在宅人工呼吸療法の安心と信頼を目指して

桑山和茂
フィリップス・レスピロニクス合同会社 呼吸事業推進部

ワークショップ6 ペースメーカー関連業務における臨床工学技士の存在意義

～施設内臨床工学技士だからこそ出来ること～ 13：20～14：50

司会 高垣 勝 (滋賀県立成人病センター 臨床工学部)

井野裕也 (京都桂病院 臨床工学科)

WS6-1 手順書を作製して臨むペースメーカー植込み業務

中川孝太郎、高井茉利奈、北館一彦、佐藤邦昭、城戸喜美恵、間中幸一
横浜栄共済病院

WS6-2 植込み型不整脈デバイス患者に対する臨床工学技士による患者指導関与の必要性

前川正樹
桜橋渡辺病院 ME科

WS6-3 臨床工学技士による植え込み型デバイスの外来フォローアップの現状と今後

堺 美郎¹⁾、米村友秀¹⁾、黒崎亮輔¹⁾、宮嶋卓郎¹⁾、川野洋眞¹⁾、荒木康幸¹⁾、本田俊宏²⁾
済生会熊本病院 臨床工学部¹⁾、済生会熊本病院 心臓血管センター循環器内科²⁾

WS6-4 植込みデバイス管理におけるトラブル対応

熊谷英明¹⁾、竹村正俊¹⁾、麦嶋美紀²⁾
昭和伊南総合病院 総務課施設係¹⁾、透析センター²⁾

ワークショップ7 人工呼吸療法における臨床工学技士の存在意義 14：50～16：20

司会 相島一登 (横浜市立市民病院 臨床工学部)

野口裕幸 (日本医科大学 ME部)

WS7-1 人工呼吸療法における臨床工学技士の存在意義 (急性期編)

森實雅司
恩賜財団 済生会横浜市東部病院 臨床工学部

WS7-2 人工呼吸療法における臨床工学技士の存在意義—在宅人工呼吸管理について—

春田良雄、長江宏則、西原裕幸、小山昌利、樋口知之、池田 顕、伊藤さやか
公立陶生病院 臨床工学部

WS7-3 慢性期人工呼吸管理について

滝口尚子
独立行政法人 国立病院機構 西多賀病院

WS7-4 人工呼吸療法における臨床工学技士の存在意義----医師から見て

磨田 裕
埼玉医科大学 国際医療センター 麻酔科

5月23日(日) ◆第2日目 第5会場

ワークショップ8 血液浄化領域における臨床工学技士の役割と期待 9:00~11:00

司会 山家敏彦 (社会保険中央総合病院)

金子岩和 (東京女子医科大学腎臓病総合医療センター 臨床工学部)

WS8-1 透析医療における血液浄化装置のマネージメント～自動化・省力化・合理化とその展開～

田岡正宏

医療法人 偕行会 名港共立クリニック

WS8-2 臨床工学技士の卒後教育と専門性

松本和広

医療法人 清陽会 ながけクリニック

WS8-3 適正治療モードの設定一性能評価のスペシャリストを目指して一

森上辰哉¹⁾、田中和馬¹⁾、阪口剛至¹⁾、大槻英展¹⁾、吉本秀之¹⁾、田淵篤嗣¹⁾、清水 康²⁾、

田中和弘²⁾、小松祐子²⁾、申 曽洙³⁾

五仁会 元町HDクリニック 臨床工学部¹⁾、五仁会 元町HDクリニック 臨床検査部²⁾、

五仁会 元町HDクリニック 内科³⁾

WS8-4 救急・集中治療領域における急性血液浄化と臨床工学技士の役割

塚本 功

埼玉医科大学国際医療センター ME サービス部

WS8-5 臨床工学技士の血液浄化領域における業務拡大の可能性

大濱和也¹⁾、大橋直人¹⁾、本多 仁¹⁾、星 均²⁾、竹中恒夫²⁾、鈴木洋通²⁾

埼玉医科大学病院 血液浄化部¹⁾、埼玉医科大学腎臓内科²⁾

5月23日(日) ◆第2日目 第6会場

ワークショップ9 血液浄化分野における大規模地震対策－東海地震を勘案して－

9:00~11:00

司会 西村和典 (大津赤十字病院 救急部・救急技術課)

武田稔男 (医療法人社団 誠仁会 みはま病院 ME 部)

WS9-1 三島地区透析施設震災時協力ネットワークの活動および静岡沖地震の対応について

引間さと江¹⁾、稲葉孝之¹⁾、金子ひとみ¹⁾、望月康夫²⁾、北村祐一²⁾、佐藤 卓³⁾、杉田栄一³⁾、

金 恭子³⁾、永見 康⁴⁾、山下田恵子⁵⁾

医療法人社団弘仁勝和会 みしま勝和クリニック¹⁾、関野医院²⁾、三島社会保険病院³⁾、

岡田じんクリニック⁴⁾、清水館医院⁵⁾

WS9-2 東海地震時のDMATの活動と臨床工学技士の働きを想定する

三井友成

姫路赤十字病院 臨床工学技術課

WS9-3 静岡県内の救護病院における震災対策の現況と課題—駿河湾沖地震を経験して—

加藤明彦¹⁾、青木克憲²⁾

浜松医科大学 附属病院 血液浄化療法部¹⁾、浜松医科大学 救急医学²⁾

WS9-4 広域的地震災害における人工透析患者の災害対策について

浅野兵庫

NPO 法人兵庫県腎友会

WS9-5 (社) 日本透析医会災害情報ネットワーク

武田稔男^{1,2)}

医療法人社団 誠仁会 みはま病院¹⁾、(社) 日本透析医会 災害情報ネットワーク本部²⁾

WS9-6 「医療ネットしおか」を活用した透析医療機関の災害時情報収集伝達

古川雅樹

静岡県 厚生部 疾病対策室 疾病対策係

WS9-7 追加発言

山田悌士

名古屋第二赤十字病院

⌚ 5月23日（日）◆第2日目 第7会場

ワークショップ10 臨床工学技士におけるカテーテル治療室業務のガイドライン

9:00~11:00

司会 安野 誠（群馬県立心臓血管センター 臨床工学課）

又吉 徹（慶應義塾大学病院 医用工学センター）

WS10-1 臨床工学技士におけるカテーテル検査業務のガイドライン

武藤 誠

埼玉県立循環器・呼吸器病センター 循環器内科

WS10-2 診療放射線技師におけるカテーテル検査業務のガイドライン

佐藤久弥¹⁾、中澤靖夫²⁾

昭和大学病院 放射線部¹⁾、昭和大学 統括放射線技術部²⁾

WS10-3 当センターにおける心臓カテーテル室業務

中嶋 勉

群馬県立心臓血管センター 技術部 臨床工学課

WS10-4 東海大学医学部付属病院、臨床工学技士の血管造影室業務

齊木 力

東海大学 医学部 付属病院 診療技術部 臨床工学技術科

WS10-5 臨床工学技士におけるカテーテル検査室業務のガイドラインについて

萱島道徳^{1,2)}

奈良県立医科大学附属病院 病院管理課 医療技術係¹⁾、

(社) 日本臨床工学技士会 手術室業務在り方 WG 委員長²⁾

WS10-6

石野花奈子

慶應大学付属病院 看護部

⌚ 5月23日(日) ◆第2日目 第8会場

シンポジウム2 立会い規制後の現状 9:00~10:30

司会 高倉照彦 (亀田総合病院 医療技術部 ME 室長)

S2-1 脳血管内治療における立会い規制後の臨床工学室の取り組み

中野典行¹⁾、松本康史²⁾、佐久間香¹⁾、佐藤陽紀¹⁾、近藤竜史²⁾、佐藤健一²⁾、松森保彦²⁾、藤原 悟^{1,3)}
財団法人広南会 広南病院 臨床工学室¹⁾、財団法人広南会 広南病院 血管内脳神経外科²⁾、
財団法人広南会 広南病院 脳神経外科³⁾

S2-2 立会い規制後の現状

春田良雄、長江宏則、西原裕幸、樋口知之、小山昌利、池田 顕、伊藤さやか、市橋孝章、
林 良太、磯谷佳史
公立陶生病院

S2-3 頸動脈ステント留置術への臨床工学技士の関わり

横田大将¹⁾、高沼和幸¹⁾、小林正宏¹⁾、宮崎大介¹⁾、清水和明¹⁾、塩澤 勉¹⁾、篠崎法彦²⁾、星野和夫²⁾
JA長野厚生連 篠ノ井総合病院 臨床工学科¹⁾、JA長野厚生連 篠ノ井総合病院 循環器内科²⁾

S2-4 立会い規制後の現状

松山法道、山本 仁、村瀬 薫
山口大学医学部附属病院 ME 機器管理センター

S2-5 立会い規制後の現状—医療機器業公正取引協議会より

水谷利栄
医療機器業公正取引協議会 立会い基準推進委員会 副委員長

特別講演 13:40~15:10

司会 常山重人 (東芝林間病院)

今だから語れる…21世紀に生きる実務者へ

橋本政弘

品質・統計実務&ライフキャリアコンサルタント 鎌倉阿庵

5月22日（土）◆第1日目 第2会場

一般演題 教育・その他①（シミュレーション教育・その他） 9:00～10:00

座長 泉 暢英（大阪医専 臨床工学学科）

小川晋平（高知高須病院 臨床工学部）

O-001 大学病院における業務別教育カリキュラムの構築

錦 麗絵、梅田修平、大塩誠司、正木涼子、野川 渚、佐藤有紀、長谷川静香、原季実子、
後藤和大、鎌田 彩、一柳 宏、志賀美子、林 啓介、林 裕樹

国立大学法人 名古屋大学医学部附属病院 臨床工学技術部

O-002 innovate THE 教育～キャリアラダー導入を目指して～

寺谷裕樹、武田裕人、夏目愛子、大山恭子、杉森圭介、愛知正嗣、岡部恭子、大城暁美、
鈴木秀造

聖隸三方原病院 CE 室

O-003 臨床工学校教育における OSCE 導入と効果についての研究

佐々木典子¹⁾、工藤剛実¹⁾、高橋るみ¹⁾、宇川雅晴¹⁾、増岡佳宏¹⁾、小林峰徳¹⁾、畠山公一¹⁾、
小出芳夫¹⁾、相澤康弘¹⁾、佐藤直由²⁾、植木章三²⁾

東北文化学園専門学校 臨床工学科¹⁾、東北文化学園大学大学院 健康社会システム研究科²⁾

O-004 シミュレーション教育への臨床工学校の関わり

安部清記¹⁾、横山 和¹⁾、大西史彦¹⁾、金子秀夫²⁾、菊池二郎²⁾、小林茂昭²⁾
社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院 ME 課¹⁾、
社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院 医学研究研修センター²⁾

O-005 透析患者急変対応シミュレーションコースの開発～HDLS コースとしての現状報告と普及に向けての検討～

柴田奈美¹⁾、浦野哲也¹⁾、渋谷健一郎¹⁾、田中雅之¹⁾、石綿清雄²⁾、香取秀幸³⁾、大森正樹⁴⁾、
中西成元⁴⁾

虎の門病院分院 臨床工学部 血液浄化療法室 CE 科¹⁾、同 循環器センター内科・同 臨床工学部²⁾、
横浜栄共済病院 腎・膠原病内科³⁾、国家公務員共済組合連合会シミュレーション・ラボセンター⁴⁾、
日本医療シミュレーション教育研究会メンバー⁵⁾

O-006 血液浄化療法におけるシミュレーション教育 タスクトレーニング編

渋谷健一郎¹⁾、柴田奈美¹⁾、浦野哲也¹⁾、田中雅之¹⁾、石綿清雄²⁾、大森正樹³⁾、中西成元³⁾

虎の門病院分院 臨床工学部 血液浄化療法室 CE 科¹⁾、同 循環器センター内科・同 臨床工学部²⁾、
国家公務員共済組合連合会シミュレーションラボセンター³⁾

一般演題 教育・その他② (臨床実習) 10:00~11:00

座長 堀 純也 (岡山理科大学 理学部 応用物理学科 医用科学専攻)
高橋純子 (京都保健衛生専門学校 臨床工学技士専攻科)

O-007 臨床実習生受け入れ施設における感染対策について

國香正見、東條圭一、白井敦史、早速慎吾、稻毛 博、飯島光雄、古平 聰、木下春奈、
松田千佳
北里大学病院 ME センター部

O-008 臨床工学技士養成校における植込み型ペースメーカーの実習～心拍応答機能の実体験的実験～

奥村高広、三輪泰之、見目恭一、山下芳久、加納 隆
埼玉医科大学 保健医療学部 医用生体工学科

O-009 臨床工学技士養成校における手術室業務実習に関する検討

古平 聰¹⁾、東條圭一¹⁾、廣瀬 稔²⁾、新保年弘²⁾
北里大学病院 ME センター部¹⁾、北里大学医療衛生学部²⁾

O-010 当院の臨床実習における新たな試み

新部美沙都¹⁾、新部武人¹⁾、小林信之¹⁾、猪俣 仁¹⁾、松金隆夫¹⁾、東 伸宣²⁾
東葛クリニック病院 臨床工学部¹⁾、外科²⁾

O-011 臨床実習でのストレッサーとカンファレンス運営に関する研究一看護師・臨床検査技師の学生と比較してー

高橋純子、泉田洋志、飯田安彦、石田洋一
京都保健衛生専門学校 臨床工学技士専攻科

O-012 臨床実習学生に対する社会的スキル測定

猪俣 仁¹⁾、小林信之¹⁾、新部美沙都¹⁾、新部武人¹⁾、松金隆夫¹⁾、山崎美佐子²⁾、東 伸宣³⁾
東葛クリニック病院 臨床工学部¹⁾、医療支援室²⁾、外科³⁾

一般演題 心臓カテーテル① 15:20~16:20

座長 加藤 諭 (独立行政法人 労働者健康福祉機構 山口労災病院 臨床工学室)
木村好文 (自治医科大学付属病院 臨床工学部)

O-013 PPIにおけるデバイスの考案

伊藤朋晃、佐田真理、高宮宣広
新行橋病院 医療技術部 臨床工学科

O-014 冠動脈中等度狭窄部位に対するFFRによる病変評価の有用性

片山浩二、清田佳久、古賀章太、西谷充司、森田 真、鶴田 茂、道越淳一、大畑善治、
丹生治司

社会保険 小倉記念病院 検査技師部 工学課

O-015 iLab™ (Boston Scientific 社製 IVUS) の iMap™機能 使用経験

寺島敏晃、山二綾子、佐藤聖和、吉澤恵子、染谷忠道、林 嘉仁、宮島真悟、森本嘉純、
大石 竜、佐藤宜伯
昭和大学横浜市北部病院 ME センター

O-016 心臓カテーテル検査室で起きた電圧ディップ現象について

塚田隆義、村澤孝秀、中村 敦、久保 仁、玉井久義

東京大学医学部付属病院 医療機器管理部

O-017 当院における心臓カテーテル業務への取り組み

大園勝行¹⁾、清水 豊¹⁾、佐藤雅裕¹⁾、須藤智亮¹⁾、色摩隆行¹⁾、阿部秀樹²⁾、川島 理²⁾財団法人 三友堂病院 ME 機器管理室¹⁾、財団法人 三友堂病院 循環器科²⁾

O-018 当院における ACS 救急対応の特徴について

山下稔晴¹⁾、峯川幹夫¹⁾、田中雅博¹⁾、元木康裕¹⁾、我妻賢司²⁾、小山信彌³⁾東邦大学医療センター 大森病院 臨床工学部¹⁾、同 心血管インターベンション室²⁾、同 心臓血管外科³⁾

一般演題 心臓カテーテル② (カテーテルアブレーション) 16:20~17:30

座長 官野高明 (横浜総合病院 臨床工学科)

丹生浩司 (社会保険 小倉記念病院 検査技師部)

O-019 CARTO MERGE を用いてカテーテルアブレーションを施行した、左室流出路起源心室頻拍の 1 症例

山崎大輔¹⁾、浜瀬美希¹⁾、下斗米諒¹⁾、天内雅人¹⁾、本吉宣也¹⁾、南谷克明¹⁾、与坂定義¹⁾、菅原時人¹⁾、宗万孝次¹⁾、浅野目晃²⁾、坂本 央²⁾、田邊康子²⁾、川村祐一郎³⁾旭川医科大学病院 診療技術部 臨床工学技術部門¹⁾、循環・呼吸・神経病態内科²⁾、保健管理センター³⁾

O-020 心房細動進行による CARTO Merge gap の検討

高橋秀暢¹⁾、岡原重幸¹⁾、松崎尚康¹⁾、中野由紀子²⁾広島大学病院 診療支援部 臨床工学部門¹⁾、広島大学病院 循環器内科²⁾

O-021 肺静脈隔離アブレーションにおける CARTO XP を用いた右房 Merge の有用性の検討

内野 敬¹⁾、菅谷大輔¹⁾、高橋良輔¹⁾、斎藤賢和¹⁾、山元秀之¹⁾、荒川静司¹⁾、堀 裕一²⁾、生天目安英²⁾、内山隆史²⁾、内藤滋人³⁾戸田中央総合病院 臨床工学科¹⁾、戸田中央総合病院 循環器内科²⁾、群馬県立心臓血管センター 循環器内科³⁾

O-022 各社アブレーション装置・対極板面積におけるインピーダンス値の比較、出力の検討

佐藤 延¹⁾、渡邊茂樹²⁾、坂下直也²⁾、縮 恭一¹⁾、茂木芳賢¹⁾、赤星博和¹⁾、三澤功輔¹⁾、佐藤仁美¹⁾、青沼和隆³⁾筑波大学付属病院 医療機器管理センター¹⁾、ディープイエックス株式会社²⁾、筑波大学大学院 人間総合科学研究所 循環器内科³⁾

O-023 心外膜側から Irrigation system を用いたアブレーションが有効であった心室頻拍の 1 例

丹生治司、大畠善治、道越淳一、森田 真、西谷充司、片山浩二、清田佳久、古賀章太

社会保険 小倉記念病院 検査技師部 工学課

O-024 右室流出路起源の心室性期外収縮アブレーション時に POP 現象を来たし、PCPS での蘇生を行った一症例

一柳 宏、錦 麗絵、佐藤有紀、梅田修平、大塩誠司、正木涼子、野川 琢、長谷川静香、

原季実子、鎌田 彩、志賀美子、林 啓介、林 裕樹

国立大学法人名古屋大学医学部附属病院 臨床工学技術部

O-025 左上肺静脈頻拍が心房細動の driver であった 1 例

丹生治司、大畠善治、道越淳一、森田 真、西谷充司、片山浩二、清田佳久、古賀章太
社会保険 小倉記念病院 検査技師部 工学課

⌚ 5月22日(土) ◆第1日目 第3会場

一般演題 管理・ソフト・解析装置等・その他① (管理) 9:00~10:00

座長 新 秀直 (東京大学医学部附属病院 企画情報運営部/企画経営部)
西堀英城 (昭和大学藤が丘病院 臨床工学部)

O-026 不具合点検依頼書から得られた医療機器の不適切使用の現状と今後の展望

伊佐祐也、須賀里香、井上和哉、小島達也、山本奈央子、児玉圭太、山口由美子、金山由紀、
御手洗哲也

埼玉医科大学総合医療センター ME サービス部

O-027 効率的な機器運用のための医療機器使用予測

里野剛之^{1,2)}、梅澤東光¹⁾、加納 敬¹⁾、佐藤敏夫³⁾、川島徳道³⁾
成和会西新井病院 臨床工学科¹⁾、桐蔭横浜大学大学院 工学研究科²⁾、桐蔭横浜大学 医用工学部³⁾

O-028 クレーム発生から見た ME 機器貸出期間の検討

三橋由佳、木原将人、野村賢二、大嶋るみ子、海老原里香、中島由紀子、常山重人
東芝林間病院 臨床工学科

O-029 定期点検の適正サイクルの検討

中西理恵子、坂本亮輔、瀬古博之、岩倉正朋
新宮市立医療センター 臨床工学部

O-030 医療機器管理業務の当院での取り組みについて

山本恭介
トヨタ記念病院 調達ファシリティマネジメントグループ 医療機器担当

O-031 医療機器管理に関するマニュアル改善への取り組み～マニュアル統一に向けて～

宇野 恵¹⁾、田中直子^{1,2)}、吉川史華¹⁾、石川智也¹⁾、水津英仁¹⁾、福原佳奈¹⁾、日田裕介¹⁾、
佐々木慎理¹⁾、小野淳一^{1,2)}、山田光樹¹⁾、高山 紗綾^{1,2)}
川崎医科大学附属病院 医療機器管理センター¹⁾、川崎医療福祉大学 医療技術学部 臨床工学科²⁾

一般演題 呼吸① (業務・安全管理) 10:00~11:00

座長 辛島隆司 (山口宇部医療センター 医療機器室)
石塚后彦 (山形県立中央病院 臨床工学室)

O-032 院内人工呼吸器における管理運用の検討

姫路俊英、山田一之
日立製作所水戸総合病院 ME センタ

O-033 院内人工呼吸器機種統一化における5年経過後の考察

藤本正弘、牛島朋美、飯田恵美、黒澤 学、吉元友里、儀間大介、小桑一平
IMS（イムス）グループ 横浜旭中央総合病院 臨床工学科

O-034 当院における呼吸療法業務

野田雅美、松平香織、朝藤直子、大谷太一、青木宏介、鈴木利哉、青柳和夫、相嶋一登
横浜市立市民病院 臨床工学部

O-035 アンケート調査からみた人工呼吸器業務

阿部淑子、根本雄司、國井由花、水落裕之、小椋康志、坂内優太郎
会津中央病院 手術室 ME

O-036 呼吸療法における安全管理に関する臨床工学技士の取り組み

森 聰史、窄口伸也、内田浩史、中島健一郎、山田鮎美、坂上貴光
社団高邦会 高木病院 臨床工学室

O-037 当院における人工呼吸器パトロール導入による安全対策の現状と課題

花岡正志、東郷好美、定 亮志、川岡卓幸、佐藤幸男、末廣茂文
大阪市立大学 医学部 附属病院 臨床工学部

一般演題 呼吸②（サポートチーム・在宅） 11：00～12：00

座長 田中正次（KKR高松病院 睡眠センター）
高山秀和（岩手県立中央病院）

O-038 人工呼吸器装着患者の転院搬送を経験して

松岡厚志、松田光喜、熊谷 誠
秋田赤十字病院

O-039 当院における呼吸サポートチームの取り組み

中村光宏^{1,2)}、山村明弘^{1,2)}、中村直樹^{1,2)}、笠原真弓²⁾、山口幸子²⁾、新屋順子²⁾、落合めぐみ²⁾、
平野佐由利²⁾、及川文雄²⁾、笠松紀雄²⁾

県西部浜松医療センター 診療技術部 臨床工学科¹⁾、県西部浜松医療センター 呼吸サポートチーム²⁾

O-040 当院における呼吸療法サポートチームの現状

寺田尚人¹⁾、住谷徳文¹⁾、岡崎健一¹⁾、鈴木裕明¹⁾、山田一之⁴⁾、遠藤祐子²⁾、名和 健³⁾
日立製作所 日立総合病院 臨床工学科¹⁾、日立製作所 日立総合病院 看護局²⁾、
日立製作所 日立総合病院 呼吸器内科³⁾、日立製作所 水戸総合病院 ME センタ⁴⁾

O-041 RST（呼吸療法サポートチーム）による人工呼吸器シミュレーション教育の構築

春田良雄¹⁾、市橋孝章¹⁾、伊藤さやか¹⁾、小山昌利¹⁾、長江宏則¹⁾、濱本実也²⁾、浅見高根²⁾、
長谷川隆一³⁾、川瀬正樹³⁾、有薗信一⁴⁾
公立陶生病院 臨床工学部¹⁾、看護局²⁾、救急部³⁾、リハビリテーション部⁴⁾

O-042 在宅人工呼吸とCEの関わり

小笠原徳有
福岡市立こども病院・感染症センター 臨床工学部

O-043 当センターにおける在宅ケアチームにおける臨床工学技士の役割

松井 晃、榎田真一、古山義明

埼玉県立小児医療センター 臨床工学部

一般演題 管理・ソフト・解析装置等・その他② (安全・管理) 13:20~14:20

座長 岡村龍也 (白光会 白石病院)

岩城隆宏 (昭和大学病院)

O-044 当院における医療機器安全管理対策の現状 (医療機器院内ラウンドを通して)

坂上貴光、窄口伸也、内田浩史、中島健一郎、山田鮎美、森 聰史

医療法人社団高邦会 高木病院 臨床工学室

O-045 医療機器安全管理での病棟訪問を試みて

廣澤 宏、番場香織、本望 翼、阿部健太、長谷川伊織、齋藤恭子、遠藤義幸、坂井伸行、

西山英隆、堀 貴行、星 義弘

済生会新潟第二病院 臨床工学室

O-046 医療安全管理室における臨床工学技士の役割

小塚麻紀¹⁾、大塚 恵²⁾、土濃塚広樹¹⁾、久木田和丘³⁾、米川元樹³⁾、川村明夫³⁾

特定医療法人 北楓会 札幌北楓病院 臨床工学技術部¹⁾、

特定医療法人 北楓会 札幌北楓病院 医療安全管理室 専従リスクマネージャー²⁾、

特定医療法人 北楓会 札幌北楓病院 外科³⁾

O-047 医療機器中央管理における委託業者関与の現状

鳥居一喜¹⁾、西堀英城¹⁾、福田賢二¹⁾、下田遙菜¹⁾、上原克子¹⁾、鈴木 完¹⁾、東哲士人¹⁾、

堤 博志¹⁾、押山貴則¹⁾、大段 剛¹⁾、西山謙一¹⁾、小林 力¹⁾、出川勝啓²⁾、竹本論有樹²⁾

昭和大学藤が丘病院 臨床工学部¹⁾、株) リジョイスカンパニー²⁾

O-048 臨床工学技士と院内標準時間の関わり

市川正人¹⁾、吉田達彦¹⁾、奥村信幸¹⁾、中畠規貴¹⁾、大内正千恵²⁾、乾 悅子³⁾、今井秀一⁴⁾

特定医療法人社団御上会 野洲病院 臨床工学科¹⁾、特定医療法人社団御上会 野洲病院 看護部²⁾、

特定医療法人社団御上会 野洲病院 専任リスクマネージャー³⁾、

特定医療法人社団御上会 野洲病院 医療安全管理室長⁴⁾

O-049 病院機能評価 Ver.6.0 受審への取り組みを通して

田中直子^{1,2)}、吉川史華¹⁾、宇野 恵¹⁾、水津英仁¹⁾、石川智也¹⁾、福原佳奈¹⁾、日田裕介¹⁾、

佐々木慎理¹⁾、小野淳一^{1,2)}、山田光樹¹⁾、高山 綾^{1,2)}

川崎医科大学附属病院医療機器管理センター¹⁾、川崎医療福祉大学臨床工学科²⁾

一般演題 教育・その他③ (搬送・海外支援他) 14:20~15:20

座長 岩尾昌之 (中津川市民病院 医療技術部 医療機器管理部)

岡本智之 (善仁会グループ教育研修センター)

O-050 当院に合った業務体制の構築

鈴木秀造、保科充紀、鈴木秀和、寺谷裕樹

聖隸三方原病院 CE 室

O-051 関連病院によるベンチマーク化と集合研修を試みて

北本憲永¹⁾、鈴木秀造²⁾、工藤絢子³⁾、藤田陽介⁴⁾、鈴木博樹⁵⁾、千葉哲也⁶⁾、服部俊文⁷⁾

社会福祉法人 聖隸福祉事業団 総合病院 聖隸浜松病院 臨床工学室¹⁾、聖隸三方原病院 CE 室²⁾、

聖隸横浜病院 臨床工学室³⁾、聖隸佐倉市民病院 臨床工学室⁴⁾、聖隸淡路病院⁵⁾、

財) 芙蓉協会 聖隸沼津病院 ME 室⁶⁾、財) 芙蓉協会 聖隸富士病院 臨床工学室⁷⁾

O-052 医師とコメディカルによる MobileCCU の活動内容と実績

島崎雄太

医療法人社団栄悠会 綾瀬循環器病院 ME 科

O-053 民間航空機による重症心不全児の海外搬送＜医療機器の準備・保守における臨床工学技士の役割＞

山二綾子、染谷忠道、宮島真悟、大石 竜、佐藤宜伯

昭和大学横浜市北部病院 ME センター

O-054 開発途上国と先進国における透析室の現状と臨床工学技士の役割

高橋良光¹⁾、塚本 功¹⁾、村杉 浩¹⁾、矢内義人¹⁾、土屋陽平¹⁾、松田真太郎¹⁾、島田啓介¹⁾、

早崎裕登¹⁾、宇津木麻衣¹⁾、山下芳久²⁾

埼玉医科大学 国際医療センター ME サービス部¹⁾、埼玉医科大学 保健医療学部 医用生体工学科²⁾

O-055 モザンビーク共和国での透析支援を経験して

西坂奈穂、高室昌司

湘南鎌倉総合病院 ME 室

一般演題 手術室関連業務① 15:20~16:20

座長 古平 聰 (北里大学病院)

前田充徳 (日本赤十字社和歌山医療センター)

O-056 臨床工学技士の手術室常駐に伴う業務構築とその効果

市橋孝章、磯谷佳史、林 良太、西原裕幸、春田良雄、長江宏則

公立陶生病院 臨床工学部

O-057 Endourology における臨床工学技士の役割

山下由美子、竹内隆浩、楠目加奈子

財団法人 倉敷成人病センター 臨床工学科

O-058 内視鏡手術支援ロボット da Vinci S HD Surgical System 導入における臨床工学技士の関わり

石田沙織、山内章弘、海江田章、豊崎正人、池田智子、山本 賢、中島 歩、柏梨穂香、

山城知明、石原里英、杉浦美佐子、石川隆志

藤田保健衛生大学病院 ME 管理室

O-059 当院における内視鏡手術動画記録の現状—モバイル HDD とサーバーを利用した動画記録システムの導入経験—

松本貴之¹⁾、山田浩人¹⁾、田中洋一³⁾、内山 瞳²⁾、関川智重⁴⁾

埼玉県立がんセンター 麻酔科 臨床工学室¹⁾、埼玉県立がんセンター 麻酔科²⁾、

埼玉県立がんセンター 手術部³⁾、四谷メディカルキューブ 臨床工学部⁴⁾

O-060 MR Surgical Suite を備えた脳神経外科新手術室と臨床工学技士の関わり

安孫子明博¹⁾、松川陽明¹⁾、中村圭佑¹⁾、杉山陽子¹⁾、吉岡 淳¹⁾、阿部 功¹⁾、貞弘光章²⁾

山形大学医学部附属病院 臨床工学部¹⁾、山形大学医学部 外科学第二講座²⁾

O-061 術中ナビゲーション装置運用における当院での技士の関わり方

尾崎 稔、近藤文磨、南雲 博、塩澤 勉

JA 長野厚生連 篠ノ井総合病院 臨床工学科

一般演題 手術室関連業務② 16:20~17:20

座長 中西清隆 (宮崎県立延岡病院 臨床工学科)

安孫子明博 (山形大学医学部附属病院 臨床工学部)

O-062 神経根電気刺激による術中運動誘発電位モニタリングが有用であった脊髄披裂の一症例

森重水貴^{1,2)}、松崎尚康¹⁾、高橋秀暢¹⁾、武田正明²⁾、山口 智²⁾、江口国輝²⁾、栗栖 薫²⁾

広島大学病院 診療支援部 臨床工学部門¹⁾、広島大学大学院 医歯薬学総合研究科 脳神経外科²⁾

O-063 整形外科における誘発電位を用いた術中モニタリング

藤井 曜¹⁾、森 英輝¹⁾、大川 修¹⁾、五十嵐義浩¹⁾、玉城瑛信¹⁾、佐藤 尚¹⁾、布谷大輔¹⁾、

清水 徹¹⁾、笹生 豊²⁾、館田武志³⁾

聖マリアンナ医科大学病院 クリニカルエンジニア部¹⁾、聖マリアンナ医科大学病院 整形外科²⁾、

聖マリアンナ医科大学病院 麻酔科³⁾

O-064 MEP モニタリングの有効性の検討

堰端大輔¹⁾、鳥越祐子¹⁾、立川慶一¹⁾、小谷友喜¹⁾、繁在家亮¹⁾、進藤靖夫¹⁾、庭山秀毅¹⁾、三澤吉雄²⁾

自治医科大学附属病院 臨床工学部¹⁾、自治医科大学附属病院 心臓血管外科²⁾

O-065 セボフルランにおける気化器の精度比較

松谷智佳、西塔 毅、岡田 隆、熊倉強史

新潟大学医歯学総合病院 診療支援部 臨床工学部門

O-066 当院での麻酔器の保守管理について

石原伸英、吉野智哉、吉田貴洋、亀谷将之、安江 充

JA 愛知厚生連 江南厚生病院 臨床工学技術科

O-067 腹腔鏡下手術における加温器付き気腹装置使用による体温変化の検討

生嶋政信、植本将史、八瀬文克、杉浦芳雄、今井大輔、清水信之、藤田智一、天野陽一

刈谷豊田総合病院 診療技術部 臨床工学科

⌚ 5月22日（土）◆第1日目 第4会場

一般演題 水処理・清浄化等・透析液①（清浄化） 9:00～10:00

座長 小澤賢一郎（医） 社団翠明会 山王病院
竹林千尋（城北クリニック）

O-068 東レ社製 RO 装置 TW-HI 極低濃度薬液封入システムの使用経験

野々山直之、山田 彩、荻野 剛、野田雅顕、喜多村晃仁、石頭郁美、小堀譲也、佐藤貴宣、
廣瀬隆司、高橋克幸、鎌田智宏、巽 洋、久藤文雄、永岡 隆
医療法人永光会 相模原クリニック 臨床工学科

O-069 热湯洗浄機能付 RO 水製造装置 TW-HI の使用経験～トータルクリーン化システム導入後1年が経過して～

中山裕一¹⁾、神永美希子¹⁾、掛あかり¹⁾、松崎あゆみ¹⁾、石津 隆²⁾、三上孝宏³⁾
セントラル腎クリニック龍ヶ崎 ME¹⁾、セントラル腎クリニック龍ヶ崎 腎臓内科²⁾、
(特医)つくばセントラル病院 ME 室³⁾

O-070 当院血液净化センターの RO 配管、透析液清浄化への取り組み

佐藤裕子¹⁾、山本久美¹⁾、竹内正志¹⁾、高宮博己¹⁾、佐藤 茂¹⁾、堤 善充¹⁾、中島正一¹⁾、
井福武志¹⁾、東 治道²⁾

社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院 臨床工学室¹⁾、
社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院 腎臓内科²⁾

O-071 当院の熱水消毒システムにおける水質変化

石井健児、影山晃良、廣川 慶、南沢伸一、田口彰一
医療法人社団 田口会 新橋病院 ME 管理室

O-072 繊維状活性炭フィルタに求められる性能

佐野博之、葛岡孝一郎、佐藤和弘、十倉秀臣、林 宏樹、田坂佳文、福島綾子、柏木博子、
植村友隆、井出孝夫
いでクリニック

O-073 水道水由来の RO 水揮発性有機化合物汚染の現状

植村友隆、佐野博之、葛岡孝一郎、十倉秀臣、佐藤和弘、林 宏樹、田坂佳文、福島綾子、
古閑尚栄、柏木博子、井出孝夫
いでクリニック

一般演題 水処理・清浄化等・透析液②（清浄化） 10:00～11:00

座長 猿渡倫治（社会保険 久留米第一病院）
光村勝也（社会福祉事業財団 西陣病院 臨床工学検査科）

O-074 当院における PVDF 透析液配管の使用評価

平賀 優¹⁾、斎藤 峻¹⁾、渡辺 翔¹⁾、滝本泰海¹⁾、星野 一¹⁾、千田雅行¹⁾、古川 守¹⁾、
阿部町子¹⁾、保科 繁¹⁾、遠藤信之¹⁾、池田 裕¹⁾、斎藤徳子²⁾、島田久基²⁾、宮崎 滋²⁾、酒井信治²⁾
信楽園病院 臨床工学科¹⁾、同 内科²⁾

O-075 エンドトキシン捕捉フィルター(ETRF)として用いるオールポリエチレン製フィルターの評価

白神 徹¹⁾、植村友隆²⁾、牧尾健司³⁾、佐野博之²⁾、南 伸治⁴⁾、田中 寛⁵⁾

友絃会総合病院¹⁾、いでクリニック²⁾、三軒医院³⁾、宝持会池田病院⁴⁾、住吉クリニック病院⁵⁾

O-076 誰にでも出来る「きれいな透析液」製造の試み

本田和美¹⁾、中野美佳¹⁾、加来清美¹⁾、須藤 勉¹⁾、熊谷拓也¹⁾、吉田順子¹⁾、市村恭子¹⁾、大薗英一^{1,2)}

医療法人 信英会 越谷大袋クリニック¹⁾、日本医科大学微生物免疫²⁾

O-077 当院における透析液安全管理体制と臨床工学技士の関わり

大内智之、吉村一美、浅野和志、細谷昌志

なめがた地域総合病院 臨床工学部

O-078 筑豊地区におけるRO水、透析液水質管理の状況

下田英津子^{1,2)}、占部幸一^{1,2)}、松原菜王²⁾、桑崎俊憲²⁾、井上 亮²⁾、桑野義昭²⁾、津田伸一郎²⁾、

岩崎彩子²⁾

医療法人 高橋内科クリニック¹⁾、筑豊地区透析交流会²⁾

O-079 RO装置の薬液洗浄における残留塩素モニターの有用性検討

鬼頭伸幸¹⁾、大平晃生¹⁾、近藤祐利¹⁾、川上 大¹⁾、浅井寿教¹⁾、森實篤司³⁾、横山逸男²⁾

医療法人 名古屋記念財団 鳴海クリニック 臨床工学部¹⁾、

医療法人 名古屋記念財団 鳴海クリニック 内科²⁾、

医療法人 名古屋記念財団 東海クリニック 臨床工学部³⁾

一般演題 安全対策① (業務) 11:00~12:00

座長 勝又尚紀 (仙台市立病院 医療器材管理科)

熊代佳景 (富山市立富山市民病院 臨床工学科)

O-080 当院における閉鎖式保育器の保守点検と臨床工学技士の関わり

吉澤恵子、野川悟史、染谷忠道、山二綾子、林 嘉仁、宮島真悟、大石 竜、佐藤宜伯

昭和大学横浜市北部病院 MEセンター

O-081 手術室における臨床工学技士の業務

増田敬介、石田幸博、石山裕通、川島嘉享

磐田市立総合病院 臨床工学科

O-082 手術室医療機器保守管理技術向上への取り組み

増井浩史、田中良樹、村松明日香、鈴木克尚、神谷典男、北本憲永

聖隸浜松病院 臨床工学室

O-083 当センターの感染対策の取り組み～感染対策費用について～

白井敦史、早速慎吾、東條圭一、稻毛 博、飯島光雄、木下春奈、國香正見、松田千佳

北里大学病院 MEセンター部

O-084 透析用監視装置における保守点検の検討

本望 翼、番場香織、廣澤 宏、長谷川伊織、阿部健太、齋藤恭子、坂井伸行、遠藤義幸、

西山英隆、堀 貴行、星 義弘

済生会新潟第二病院 臨床工学室

O-085 在宅医療への関わりー在宅医療の導入から在宅用医療機器の管理までー

岡崎健一、佐藤 健、鈴木裕明

株式会社日立製作所 日立総合病院 臨床工学科

一般演題 水処理・清浄化等・透析液③ 13:20~14:20

座長 富永潤史 (特別医療法人 春回会 井上病院)

長谷川進 (新潟大学医歯学総合病院 診療支援部 臨床工学部門)

O-086 メンブランフィルター (MF) 法による細菌培養検査デバイスの実用性に関する検討

浅野公太、大田亜葵子、丸山 藍、阿部治朗、草野八重子、金山浩子、佐藤知晶、山本乃之、

深澤 篤、三浦 明、鈴木 敦、宮下美恵、鈴木利昭

阿佐谷すずき診療所

O-087 走査電子顕微鏡 (SEM) とエネルギー分散型 X 線分析装置 (EDS) による微粒子除去フィルター付着物質の評価

今井基之^{1,2)}、高野雅史²⁾、大庭卓也²⁾、大竹三十四²⁾、浅野太郎²⁾、柴田 猛²⁾、金田 浩²⁾、西川英一¹⁾東京理科大学大学院 工学研究科¹⁾、医療法人 かもめ・日立クリニック²⁾

O-088 改良型微生物迅速検査装置 Bioploer2 : BIP2 を用いた水質管理体制の評価

羽賀浩史、南知恵美、石丸昌志、内野順司、正井基之、吉田豊彦

医療法人社団 誠仁会 みはま病院

O-089 生菌迅速自動検査システム (DOX) を用いた透析液水質管理の検討

三浦英貴¹⁾、平野聖浩¹⁾、三浦國男¹⁾、大崎慎一²⁾、永嶽嘉嗣²⁾新都市医療研究会君津会 玄々堂君津病院 臨床工学科¹⁾、新都市医療研究会君津会 玄々堂君津病院 外科²⁾

O-090 透析液供給装置の更新に伴い末端薬液濃度を実測する有用性について

岩屋木綿子、伊福加奈子、高取清史、本村謙一

本村内科医院

O-091 バクテリアカウンターを用いた生菌の迅速検査

平野聖浩¹⁾、三浦英貴¹⁾、村岡華子¹⁾、長谷川民世¹⁾、三浦國男¹⁾、大崎慎一²⁾、永嶽嘉嗣²⁾新都市医療研究会君津会 玄々堂君津病院 臨床工学科¹⁾、新都市医療研究会君津会 玄々堂君津病院 外科²⁾

一般演題 透析① (その他) 14:20~15:20

座長 佐野貴広 (那覇市立病院)

伊藤理一 (医療法人社団 慈朋会 澤田病院 透析部 臨床工学科)

O-092 透析液の濃度調整時に起こった pH 値異常

松田卓也、田窪慎吾、斧 武志、吉良匡司、瀑布川義和、武田 功、三宅 晋、島津栄一

医療法人 仁栄会 島津病院 臨床工学部

O-093 消毒剤用ポンプチューブ劣化に伴う配管消毒剤濃度低下トラブルへの対策と検証

仲松晋也、内里 司、大浜健太、宮城直史、弓浜義之、野原 剛、豊川真理、大城 安
社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院 臨床工学科

O-094 透析用コンソール GC-110N 導入におけるインシデント低減効果の検討

児玉健一郎¹⁾、坂井智英¹⁾、小林邦彦¹⁾、久保田将広¹⁾、佐川新一郎¹⁾、川村正喜²⁾
宝生会 PL 病院 臨床工学技士室¹⁾、宝生会 PL 病院 泌尿器科²⁾

O-095 透析終了後の血液回路処理方法についての検討

仲松明希、豊川賢次、城間俊久、平良和彦
医療法人和の会 与那原中央病院

O-096 透析液作成環境について—NIPRO 社製空気浄化機（NS-457）の使用経験—

白石大輔、野村 起、瀬々しおり、林 美希、常深智子、木原信也、中田充生、中村拓生、
松藤昭宏、速水 弘

財団法人甲南病院 六甲アイランド病院 中央臨床工学室

O-097 標準化罹患比から見た都道府県別透析患者数に与える因子の疫学的検討

佐藤正広¹⁾、深尾 彰²⁾
北村山公立病院 臨床工学室¹⁾、山形大学大学院医学系研究科 公衆衛生学講座²⁾

一般演題 その他（技工学活動他） 15：20～16：10

座長 本多 仁（埼玉医科大学病院 血液浄化部）

尹 成哲（神鋼加古川病院 ME 科）

O-098 臨床工学技士業務における KYT の導入

石井仁士、名取絵里、奥原由起子、保坂 泰
甲府城南病院

O-099 臨床工学技士養成校における学生の生活実態と気分状態との関連性

樽井一郎¹⁾、水野松本由子²⁾
姫路獨協大学 医療保健学部 臨床工学科¹⁾、兵庫県立大学大学院 応用情報科学研究科²⁾

O-100 「秋田県臨床工学技士会における卒後 5 年未満の臨床工学技士環境調査」

森屋勝己¹⁾、千葉一幸²⁾、熊谷 誠³⁾
山本組合総合病院 ME センター¹⁾、松田記念泌尿器科クリニック²⁾、秋田赤十字病院³⁾

O-101 岐阜県臨床工学技士会人材活性化委員会（NextG）の活動報告～県下に従事する臨床工学技士への意識調査～

岩尾昌之¹⁾、武安美希子¹⁾、志村貴之¹⁾、工藤恵子¹⁾、伊藤理一¹⁾、岩田雄義¹⁾、野々村浩光²⁾、
野倉正敏²⁾
岐阜県臨床工学技士会人材活性化委員会（NextG）¹⁾、岐阜県臨床工学技士会²⁾

O-102 “組織力向上” のための意識調査結果報告

熊切こず恵、関根広介、伊橋 徹、内野順司、三浦國男、松金隆夫
一般社団法人 千葉県臨床工学技士会

一般演題 安全対策③（保守） 16：10～16：40

座長 森屋勝己（山本組合総合病院）

山本 桂（ベルランド総合病院）

- O-103 鉛蓄電池小型無停電電源装置（UPS）使用時の二次災害（発煙）発生について

高道昭一、森田 猛、嶋岡健志、宮島哲也、山東奈津子、小林千里、倉石 俊
富山大学附属病院 医療機器管理センター

- O-104 バッテリ点検用補助装置の試作

野口恭平¹⁾、矢田哲康¹⁾、齋藤充央¹⁾、中島 礼¹⁾、関谷 理¹⁾、夏目隆敬¹⁾、清水 徹¹⁾、館田武志²⁾
聖マリアンナ医科大学病院 クリニカルエンジニア部¹⁾、聖マリアンナ医科大学病院 麻酔科²⁾

- O-105 医療機器の使用方法と内蔵バッテリー性能の低下の関係

加納 敬¹⁾、梅澤東光¹⁾、里野剛之^{1,2)}、佐藤敏夫³⁾、川島徳道³⁾
成和会西新井病院 臨床工学科¹⁾、桐蔭横浜大学大学院 工学研究科²⁾、桐蔭横浜大学 医用工学部³⁾

一般演題 集中治療関連業務 16：40～17：10

座長 中村博一（三重県立総合医療センター 臨床工学グループ）

要田宏樹（金沢大学附属病院）

- O-106 NIBP 自動測定における新アルゴリズムの有用性について

高橋公徳¹⁾、太田友里絵¹⁾、諸田祐希¹⁾、立崎健一¹⁾、中西秀雄¹⁾、広井知歳²⁾、平原英昭³⁾、
鎌瀧 修³⁾

群馬県済生会前橋病院 ME 室¹⁾、群馬県済生会前橋病院 循環器内科²⁾、
日本光電（株）バイタルセンサ部³⁾

- O-107 ICU における臨床工学技士業務の現状と課題

加藤恭浩¹⁾、両角奈美¹⁾、児玉暁人¹⁾、山田実貴人²⁾
社会医療法人厚生会木沢記念病院 医療技術部 ME 技術課¹⁾、
社会医療法人厚生会木沢記念病院 救急部門²⁾

- O-108 酸素運搬係数 DaO₂I と心大血管術後集中治療室滞在日数の関連

澤田知広¹⁾、渡邊晴美¹⁾、高橋幸子¹⁾、宮本浩三¹⁾、土井 厚¹⁾、花隈 淳¹⁾、森下雄亮¹⁾、
中井浩司¹⁾、尾辻眞矢¹⁾、平手裕市²⁾
名古屋掖済会病院 臨床工学部¹⁾、名古屋掖済会病院 心臓血管外科²⁾

5月22日(土) ◆第1日目 第5会場

一般演題 透析②(バスキュラーアクセス) 9:00~10:00

座長 引地 誠 ((医)台原内科クリニック)

小北克也 (仁真会 白鷺病院 臨床工学科)

O-109 VA管理におけるクリアランスギャップ(CL-Gap)の有用性の検討

花本昌一¹⁾、佐藤昭子¹⁾、村上辰和嘉¹⁾、前田貞亮²⁾

前田記念腎研究所 武藏小杉クリニック 臨床工学部¹⁾、前田記念腎研究所²⁾

O-110 バスキュラーアクセス管理表の使用経験

小澤和由¹⁾、元山勇士²⁾、矢島勇臣³⁾、森本耕吉⁴⁾、栗原正己⁵⁾、本間 崇⁵⁾

武藏境駅前クリニック 臨床工学部¹⁾、吉祥寺クリニック 臨床工学部²⁾、吉祥寺クリニック 診療部³⁾、

慶應義塾大学 医学部 腎臓内分泌代謝内科⁴⁾、横浜第一病院 臨床工学部⁵⁾

O-111 バスキュラーアクセス用シャント管理におけるCE業務

杉村 淳、日高芳蔵、山内寛二、福井隆宏、季高健太、物江浩樹、境野可奈子、工藤絢子

社会福祉法人 聖隸福祉事業団 聖隸横浜病院 臨床工学室

O-112 VA機能不全検出法としてのクリアランスギャップ(CL-Gap)の有用性

佐々木雅敏、須藤 徹、佐藤健太、石川 健、桑田大輔、杉本親紀、櫻田克己

NTT 東日本札幌病院 臨床工学室

O-113 バスキュラーアクセスチームを立ち上げて

森 優治、明神健太郎、松田卓也、瀑布川義和、武田 功、三宅 晋、島津栄一

医療法人 仁栄会 島津病院 臨床工学部

O-114 動静脈瘻(AVF)における盗血現象の判別法

人見泰正^{1,2)}、衣川由美¹⁾、衛藤直久¹⁾、林 道代¹⁾、西垣孝行²⁾、水野松本由子²⁾

綾部市立病院 医療技術部 臨床工学科¹⁾、

兵庫県立大学大学院 応用情報科学研究科 生体信号計測解析研究室²⁾

一般演題 透析③(性能評価) 10:00~11:00

座長 菅井 聰 (医療法人 癒水会 会津クリニック)

山根 明 (JA 山口厚生連小郡第一病院)

O-115 旭化成クラレメディカル社製透析器APS-15DS plusの性能評価

大居紗友里¹⁾、小林信之¹⁾、大木好明¹⁾、久保 満¹⁾、松金隆夫¹⁾、中澤了一²⁾、東 伸宣³⁾

東葛クリニック病院 臨床工学部¹⁾、腎臓内科²⁾、外科³⁾

O-116 大面積V型ダイアライザ PES-25SαとPES-25Dαの性能評価

水口理世¹⁾、山口 曜¹⁾、山口裕伸¹⁾、桐谷早苗¹⁾、三浦國男¹⁾、大崎慎一²⁾、永薫嘉嗣²⁾

玄々堂君津病院 臨床工学科¹⁾、玄々堂君津病院 外科²⁾

O-117 東レ社製ダイアライザ CX-1.6Uの性能評価

藤平雅紀¹⁾、山口 曜¹⁾、山口裕伸¹⁾、渡邊仙志¹⁾、三浦國男¹⁾、大崎慎一²⁾、永薫嘉嗣²⁾

玄々堂君津病院 臨床工学科¹⁾、玄々堂君津病院 外科²⁾

O-118 PEPA 膜 V 型透析器 FDY-GW が血清リン値に及ぼす影響

後藤雅宏¹⁾、山本 淳¹⁾、内野順司²⁾、河野孝史¹⁾、吉田豊彦²⁾
みはま成田クリニック¹⁾、みはま病院²⁾

O-119 旭化成クラレメディカル社製 ABH-F の前希釀、後希釀 HDF における性能評価

新部武人¹⁾、川原田貴士¹⁾、赤司克二¹⁾、糸日谷美奈子¹⁾、石井達三¹⁾、大木好明¹⁾、森脇邦弘¹⁾、
久保 満¹⁾、池田太寛幸¹⁾、松金隆夫¹⁾、中澤了一²⁾、東 伸宣³⁾
東葛クリニック病院 臨床工学部¹⁾、東葛クリニック病院 腎臓内科²⁾、東葛クリニック病院 外科³⁾

O-120 中大分子尿毒素の除去特性について

金指 亨¹⁾、林田俊英¹⁾、原田拓也¹⁾、井口 宏¹⁾、山下明泰²⁾
医療法人宏健会つきみ野じんクリニック 透析センター¹⁾、湘南工科大学マテリアル工学科²⁾

一般演題 透析④ 11:00~12:00

座長 福安賢吾 (三樹会 吉野・三宅ステーションクリニック)
宮野勝利 (医療法人団体 清省会 元町内科医院 透析室)

O-121 在宅血液透析における短時間連日透析の臨床評価

大橋直人¹⁾、石川一人¹⁾、菊池枝里¹⁾、藤江遼平¹⁾、宮崎真一¹⁾、本多 仁¹⁾、大濱和也¹⁾、
鈴木洋通²⁾、山下芳久¹⁾
埼玉医科大学病院 血液浄化部¹⁾、埼玉医科大学病院 腎臓内科²⁾

O-122 搔痒症に対し積層型ダイアライザーが有用であった 2 症例

河村彰文¹⁾、清水省三¹⁾、西村崇志¹⁾、朴 勺²⁾、安田和弘²⁾
医療法人弘英会琵琶湖大橋病院 臨床工学技術科¹⁾、医療法人弘英会琵琶湖大橋病院 透析センター²⁾

O-123 末梢血流測定装置 PAD3000 の有用性の検討

鈴木一哉、熊切こず恵、石丸昌志、内野順司、正井基之、吉田豊彦
医療法人社団 誠仁会 みはま病院

O-124 グルコース分析装置 StatStrip Express と自己検査用血糖測定器の血糖値の比較検討

谷口 淳¹⁾、齋藤雅樹¹⁾、小川智也²⁾、鈴木拓人¹⁾、佐々木裕介¹⁾、佐川澄明¹⁾、金山由紀¹⁾、
田邊厚子³⁾、前田忠昭²⁾、野入千絵²⁾、松田昭彦²⁾、松村 治²⁾、御手洗哲也²⁾
埼玉医科大学総合医療センター ME サービス部¹⁾、埼玉医科大学総合医療センター 人工腎臓部²⁾、
埼玉医科大学総合医療センター 看護部³⁾

O-125 血液凝固分析装置 CG02 を用いたヘパリンモニターとしての APTT 測定

大木寛子¹⁾、福原 瞳¹⁾、猪俣 仁¹⁾、池田太寛幸¹⁾、松金隆夫¹⁾、東 伸宣²⁾
東葛クリニック病院 臨床工学部¹⁾、外科²⁾

O-126 開始時のヘパリンワンショットはなくせるか?

高橋伴行¹⁾、長富 靖¹⁾、鈴木安信¹⁾、尼ヶ崎安絃²⁾、日臺英雄²⁾、正井伸一³⁾、栗原正己⁴⁾、
本間 崇⁴⁾
ハートフル瀬谷クリニック 臨床工学部¹⁾、ハートフル瀬谷クリニック 診療部²⁾、
海老名クリニック 臨床工学部³⁾、横浜第一病院 臨床工学部⁴⁾

一般演題 透析⑤（急性血液浄化） 13：20～14：20

座長 大久保淳（北杜市立塩川病院 臨床工学科）

高畠智浩（大分市医師会立アルメイダ病院 臨床工学室）

- O-127 持続血液透析（CHD）とPMX-DHPを施行し、救命できた超低出生体重児（748g）の1症例の経験

大塚勝二¹⁾、石川実穂¹⁾、武田玲子¹⁾、原田俊和¹⁾、芦村公一¹⁾、山本達郎¹⁾、伊藤徳浩²⁾、西一彦²⁾、辛嶋真実³⁾、佐藤歩³⁾、松本志郎³⁾、岩井正憲³⁾、三渕浩³⁾

熊本大学 医学部 附属病院 ME機器センター¹⁾、熊本大学 医学部 附属病院 血液浄化療法部²⁾、熊本大学 医学部 附属病院 NICU³⁾

- O-128 当院における持続的血液濾過透析の現状と各装置の安全性について

板井規夫、大石義英、津末琢也、大高真吾、宮本大輔、上原秀一郎、安部友美、高畠智浩
大分市医師会立アルメイダ病院 臨床工学室

- O-129 小児における持続的血液濾過透析（CHDF）の無輸血による回路交換法

菊池義彦¹⁾、山崎英隆¹⁾、小川由希子¹⁾、有野卓也¹⁾、福家伸夫²⁾、志賀英敏²⁾
帝京大学 ちば総合医療センター 臨床工学部¹⁾、
帝京大学 ちば総合医療センター 救急集中治療センター²⁾

- O-130 急性血液浄化療法の現状と問題点について～甲信地区のCHDFの実態調査と標準化に向けた分析～
大久保淳¹⁾、高橋満彦¹⁾、塩澤勉²⁾

山梨県臨床工学技士会¹⁾、篠ノ井総合病院 臨床工学科²⁾

- O-131 急性期病院における人工透析室業務の現状と課題

長澤建一郎、館田建一、長谷川高志、中村賢洋、櫻井裕介、山本真実、長澤洋一
石心会 川崎幸病院 CE科

- O-132 劇症肝不全に対する人工肝補助療法の現況

千葉二三夫¹⁾、那須敏裕¹⁾、猫宮伸佳¹⁾、山内貴司¹⁾、小林暦光¹⁾、根本貴史¹⁾、千葉直樹¹⁾、
渡部悟¹⁾、古川博一¹⁾、姜貞憲²⁾、横山健³⁾、片山勝之³⁾
医療法人 溪仁会 手稲溪仁会病院 臨床工学部¹⁾、
医療法人 溪仁会 手稲溪仁会病院 消化器病センター²⁾、
医療法人 溪仁会 手稲溪仁会病院 麻酔科集中治療室³⁾

一般演題 透析⑥ 14：20～15：20

座長 五十嵐洋行（済永会 矢吹嶋クリニック 臨床工学室）

田中 健（医療法人 衆和会 桜町クリニック時津）

- O-133 穿刺針の太さの違いが溶質（BUN）除去能に及ぼす影響～HD02を使用した実血流量測定値を含めた検討～

鈴木敏弘¹⁾、柴生田啓志¹⁾、井上 学²⁾、石丸昌志²⁾、内野順司²⁾、村上康一²⁾、吉田豊彦²⁾
みはま香取クリニック¹⁾、みはま病院²⁾

O-134 当院における透析用留置針および血液回路固定方法の検討

織田和嗣

大田市立病院 診療支援部 臨床工学

O-135 人工透析用血液回路内におけるマイクロバブルを用いた流れの可視化

堀 純也、加藤知子、塩田賢志、川村真未、尾崎眞啓

岡山理科大学 理学部 応用物理学科 医用科学専攻

O-136 心臓血管外科手術後の除水管理についての検討

小柳邦治¹⁾、川脇雄次¹⁾、吉福律子²⁾、西川泰彦³⁾、浪江 智³⁾佐世保市立総合病院 臨床工学室¹⁾、佐世保市立総合病院 看護部²⁾、佐世保市立総合病院 腎臓内科³⁾

O-137 IL-6 と体温におけるポンプ式・落差式による腹水濾過濃縮再静注法の差異の検討

折見省二¹⁾、水野勝成¹⁾、馬越秀子²⁾、開原正展³⁾、橋本昌美³⁾尾道市立市民病院 ME センター¹⁾、腎センター²⁾、内科³⁾

O-138 癌性腹膜炎に対する腹水濾過濃縮再静注法 (CART) の治療結果について

山田浩人¹⁾、松本貴之¹⁾、内山 睦²⁾、松尾直樹³⁾、堀江弘二⁴⁾埼玉県立がんセンター 麻酔科 臨床工学室¹⁾、埼玉県立がんセンター 麻酔科²⁾、埼玉県立がんセンター 緩和ケア科³⁾、埼玉県立がんセンター 婦人科⁴⁾

一般演題 透析⑦ 15:20~16:20

座長 平田朋彦 ((医) 養気会池井病院 腎センター)

重矢直彦 (福井赤十字病院 臨床工学技士課)

O-139 携帯端末を用いた透析施行中のイベント入力システムの開発

鈴木 卓^{1,2)}、新村正明³⁾、田端唯次¹⁾、川崎忠行¹⁾前田記念腎研究所 茂原クリニック 臨床工学部¹⁾、信州大学 大学院総合工学系研究科博士課程²⁾、信州大学大学院³⁾

O-140 Microsoft Access を用いての院内情報の電子化とその運用について

竹内洋平、田口幸雄、渡辺信行、西 隆博、西 忠博

医療法人社団 博樹会 西クリニック

O-141 当院血液浄化室における血液浄化装置の保守管理の現状およびCEの貢献度

小宅卓也、薮崎広宣、村田 綾、錦織恒太、田村好伸、菊地 武、稻田文恵、野川悟史、

宮島真悟、森本嘉純、大石 竜、佐藤宜伯

昭和大学横浜市北部病院 ME センター

O-142 看護師人員削減による当院の血液浄化センター業務移行の現状

田中佑佳、山口正輝、豊田美穂、峰澤里志、神谷裕介、浅井志帆子、馬場由理、宇井雄一、
山本英樹、丸山仁実、西村良恵、木下昌樹、西分和也

岡崎市民病院 医療技術局 臨床工学室

O-143 ヒューマンエラー対策がスタッフの安全意識に及ぼす影響

丸山今日子、原田節子、滝本知子、橋本 賦、赤穂さおり、永田千恵、平木志保、井上雅也、

山本貴敏

山本クリニック

O-144 当院透析室における感染管理

河田修一、田中義範、山口和也、澤崎史明、堂野隆史、窪田将司、鷹橋 浩、桐 則行
市立旭川病院 臨床工学室

一般演題 透析⑧ (アフェレシス) 16:20~17:30

座長 千原伸也 (札幌医科大学付属病院 臨床工学室)
藤堂 敦 (近畿大学医学部堺病院 臨床工学部)

O-145 血漿交換 (PE) が著効した新型インフルエンザによる DIC 小児症例

萱島道徳¹⁾、増田善文¹⁾、松本猛志¹⁾、切畠屋智史¹⁾、岩下裕一¹⁾、横田基次¹⁾、小西康司¹⁾、
吉澤弘行²⁾、西尾健治³⁾、奥地一夫³⁾、松本雅則⁴⁾
奈良県立医科大学附属病院 病院管理課 医療技術係¹⁾、
公立大学法人奈良県立医科大学 小児科学教室²⁾、奈良県立医科大学附属病院 高度救命救急センター³⁾、
奈良県立医科大学附属病院 輸血部⁴⁾

O-146 アルブミン製剤による血漿交換の検証

福岡昌起¹⁾、又吉 徹¹⁾、平林則行¹⁾、稻垣利紗¹⁾、越川 翠¹⁾、門川俊明²⁾、林 松彦²⁾
慶應義塾大学病院 医用工学センター¹⁾、慶應義塾大学病院 血液浄化透析センター²⁾

O-147 血液透析と LDL アフェレシス同時併用の臨床効果

中野達也、渡辺亮子、鈴木康浩、池田 良、石井雄士、櫻井信行
医療法人 新光会 村上記念病院

O-148 何度も繰り返すステント内亞急性血栓症に対し、二重膜濾過血漿交換を施行した一例

島崎寿明、牛島朋美、浅川新一、飯田恵美、田口翔太郎、黒澤 学、吉元友里、儀間大介、
高橋拓也、藤本正弘、後藤幸弘、小桑一平
IMS (イムス) グループ横浜旭中央総合病院

O-149 当院における末梢血幹細胞採取 (PBSCH) の取り組み

中原 肢¹⁾、小串美由紀¹⁾、上岡将之¹⁾、倉持龍彦¹⁾、関 貴弘¹⁾、寺田紀子¹⁾、福村浩一¹⁾、
上野信一¹⁾、鴨下昌晴²⁾、松井則明³⁾
JA 茨城県厚生連 総合病院 土浦協同病院 臨床工学部¹⁾、同 血液内科²⁾、同 腎臓内科³⁾

O-150 血液浄化療法に携わる臨床工学技士における末梢血幹細胞採取実施時の関わり方の検討

高橋良光¹⁾、塚本 功¹⁾、村杉 浩¹⁾、矢内義人¹⁾、土屋陽平¹⁾、松田真太郎¹⁾、島田啓介¹⁾、
早崎裕登¹⁾、宇津木麻衣¹⁾、山下芳久²⁾
埼玉医科大学国際医療センター ME サービス部¹⁾、埼玉医科大学 保健医療学部 医用生体工学科²⁾

O-151 再生医療における脂肪由来幹細胞/間質細胞の細胞分離装置操作管理を含む臨床工学技士の関わり

長谷川静香¹⁾、林 啓介¹⁾、大塩誠司¹⁾、原季実子¹⁾、錦 麗絵¹⁾、志賀美子¹⁾、林 裕樹¹⁾、
鳥山和宏²⁾、亀井 壱²⁾、山本徳則³⁾、後藤百万³⁾
国立大学法人名古屋大学医学部附属病院 臨床工学技術部¹⁾、
国立大学法人名古屋大学医学部附属病院 形成外科²⁾、
国立大学法人名古屋大学医学部附属病院 泌尿器科³⁾

⌚ 5月22日（土）◆第1日目 第6会場

一般演題 呼吸③（トラブル・トラブルと対策） 9:00～10:00

座長 野口裕幸（日本医科大学附属病院 ME部）

寺島敏明（昭和大学横浜市北部病院 ME室）

O-152 人工呼吸器の保守管理～作動不良による換気停止について～

森田 真、道越淳一、鶴田 茂、古賀章太、清田佳久、西谷充司、片山浩二、大畠善治、
丹生治司

小倉記念病院 検査技師部 工学課

O-153 臨床工学技士が人工呼吸器装着患者の心停止に遭遇した経験

相嶋一登、松平香織、野田雅美、朝藤直子、大谷太一、青木宏介、鈴木利哉、青柳和夫
横浜市立市民病院 臨床工学部

O-154 人工呼吸管理のインシデント対策について

米山和範、岩崎 肇、佐藤孝二、木内聰子、安藤かおり、戸田久美子、前田 恒、栗原里佳、
花田琢磨、中嶋 勉、安野 誠
群馬県立心臓血管センター 技術部 臨床工学課

O-155 患者シミュレータを用いた人工呼吸器トラブル対応実習への取り組み

加藤希和、岩城隆宏、山崎千聰、安岡大資、中野 充
昭和大学病院 ME室

O-156 Sim Man を用いた人工呼吸器トラブルシーティング教育の試み

松島保行、佐藤浩志、佐藤加奈子、伊藤俊人、堀内勇人、齋藤郁郎
日本赤十字社医療センター 医療技術部 臨床工学技術課

O-157 BLS アルゴリズムを組み込んだ人工呼吸器トラブルシーティングの試み

木下香魚子¹⁾、山田紀昭¹⁾、小田尚子¹⁾、小原澄子²⁾、竹内知恵²⁾、鈴木美保³⁾
済生会¹⁾、済生会横浜市東部病院 看護部²⁾、済生会横浜市東部病院 スキルトレーニングセンター³⁾

一般演題 ペースメーカー①（業務関連） 10:00～11:00

座長 松岡厚志（秋田赤十字病院 医療技術部臨床工学課）

森下達雄（横須賀共済病院 臨床工学科）

O-158 ペースメーカー関連業務における医療安全に関する検討

武田章数、東條圭一、早速慎吾、外間信人、國香正見、大島弘之
北里大学病院 ME センター部

O-159 立会い規制に伴うペースメーカー業務に対する取り組み

杉谷暢展、益田亜香峰、元永善大、西肥正浩
兵庫県立尼崎病院 診療部

O-160 千葉労災病院におけるペースメーカー業務への臨床工学技士の役割

長見英治¹⁾、石井利幸¹⁾、久我洋史¹⁾、牧之内崇²⁾、浅野達彦²⁾、石橋 聰²⁾、山内雅人²⁾、
石川康朗²⁾、深尾 立³⁾

千葉労災病院 臨床工学部¹⁾、千葉労災病院 循環器科²⁾、千葉労災病院 病院長³⁾

O-161 当院におけるペースメーカー業務への取り組み

後藤幸弘、島崎寿明、高橋拓也、小柔一平

IMS（イムス）グループ 横浜旭中央総合病院 臨床工学科

O-162 当院におけるカテーテルアブレーション業務の現状

坂口直也、松月正樹、佐生 喬、宮城英毅、岩田英城

三重大学医学部附属病院 臨床工学部

O-163 業者の立会い規制に対する当院でのペースメークア業務体制

永田吾一¹⁾、梶原吉春¹⁾、徳留大剛¹⁾、添田規子¹⁾、阿部結美¹⁾、黒田真衣¹⁾、岡澤智彦¹⁾、
深町和彦¹⁾、吉野健二¹⁾、鈴木聖夫¹⁾、谷本 直¹⁾、森田典成²⁾、小林義典²⁾、秋 順³⁾、金渕一雄³⁾
東海大学 医学部付属 八王子病院 MEセンター¹⁾、同 循環器内科²⁾、同 心臓血管外科³⁾

一般演題 ペースメーカー② 11：00～12：00

座長 大谷太一（横浜市立市民病院）

飯窪 譲（甲府共立病院 ME課）

O-164 再三尖弁置換術時のショックリード挿入の1症例

広瀬徳勝、神谷典男、増井浩史、村松明日香、田中良樹、岩田真智子、北本憲永
聖隸浜松病院 臨床工学室

O-165 ペースメーカー心不全に対するCRTの評価を行った一例

多賀谷正志¹⁾、原 和信¹⁾、入船竜史¹⁾、小田洋介¹⁾、半田宏樹¹⁾、市川峻介¹⁾、石崎光理¹⁾、
川本俊治²⁾、田村 律²⁾、松田守弘²⁾
独立行政法人国立病院機構呉医療センター 麻酔科 ME管理室¹⁾、
独立行政法人国立病院機構呉医療センター 循環器科²⁾

O-166 心室リードの右室穿孔がセンシング極性をユニポーラにして先端電極を変更することにより示唆できた症例

稻垣香織¹⁾、開 正宏¹⁾、瀧本さち¹⁾、中村みどり¹⁾、堂園大輔¹⁾、落合友彌¹⁾、大塚規博¹⁾、
中井悠二¹⁾、安 里奈¹⁾、清水大輔¹⁾、蜂須賀章友¹⁾、山鹿 彰¹⁾、服部敏之¹⁾、柴田義久²⁾、
大岩伊知郎³⁾

名古屋第一赤十字病院 医療技術部 臨床工学技術課¹⁾、名古屋第一赤十字病院 循環器科²⁾、
名古屋第一赤十字病院 医療技術部³⁾

O-167 ペースメーカー植え込み部位の皮膚圧迫壊死をきたした症例と生活指導の注意点

松嶋尚志¹⁾、竹田保子¹⁾、南久美子¹⁾、斎藤昭広¹⁾、本田美穂¹⁾、白石浩一²⁾、斎藤伸介²⁾、
大倉誓一郎²⁾、油谷伊佐夫²⁾
市立砺波総合病院 臨床工学科¹⁾、市立砺波総合病院 循環器内科²⁾

O-168 演題取り消し

O-169 小児のペースメーカー植え込み症例の経験

神谷典男¹⁾、広瀬徳勝¹⁾、田中良樹¹⁾、増井浩史¹⁾、村松明日香¹⁾、岩田真智子¹⁾、北本憲永¹⁾、小出昌秋²⁾

聖隸浜松病院 臨床工学室¹⁾、聖隸浜松病院 心臓血管外科²⁾

一般演題 呼吸④ (在宅・NPPV) 13:20~14:10

座長 笹山真一 (黒部市民病院 臨床工学科)

寺谷裕樹 (聖隸三方原病院 CE 室)

O-170 NPPV 人工呼吸器の呼吸回路の検討

吉野健二、鈴木聖夫、徳留大剛、梶原吉春、阿部結美、添田規子、永田吾一、岡澤智彦、黒田真衣、深町和彦、谷本直
東海大学 医学部付属 八王子病院 ME センター

O-171 経皮的気管切開キット「ネオパーク」による気管切開手術時の NPPV 使用経験

対比地弘隆、松村博行、宮崎郁英
医療法人 島門会 本島総合病院 臨床工学部門

O-172 当院における急性期用 NPPV 装着状況の評価

清水和之¹⁾、沼澤てるひこ¹⁾、鄭 奈恵¹⁾、谷 久明¹⁾、仲盛智之¹⁾、中山志保¹⁾、白井康之¹⁾、石綿清雄²⁾
虎の門病院 臨床工学部 CE 管理科¹⁾、虎の門病院 循環器センター 内科²⁾

O-173 插管型人工呼吸器を用いた非侵襲的陽圧換気療法の臨床的検討—ガイドライン低推奨度の症例に対しての NPPV—

原田武志¹⁾、大掛馨太¹⁾、植松亜希夫¹⁾、木下雅晴²⁾
医療法人 明和病院 臨床工学室¹⁾、医療法人 明和病院 麻酔科²⁾

O-174 在宅 NPPV 患者のアドヒラ NS の向上に向けて～機器の解析データを利用して～

伊藤さやか¹⁾、春田良雄¹⁾、長江宏則¹⁾、近藤康博²⁾、谷口博之²⁾
公立陶生病院 臨床工学部¹⁾、呼吸器アレルギー内科²⁾

一般演題 管理・ソフト・解析装置等・その他③ (管理・ソフト) 14:10~15:00

座長 近藤敏哉 (亀田総合病院)

小南裕司 (近江八幡市立総合医療センター 臨床工学科)

O-175 輸液・シリンジポンプの管理・運用～中央管理室を置かずに～

田中敬弘、和田理絵子、柳原伸也、石川武司、大塚洋平、濱田章希、鈴木裕也、和田直也、荻田昌美、平井久美
いづみの病院 臨床工学部

O-176 輸液ポンプの修理コストについて

森本恭彰、砂山篤志、佐藤広樹、海老子貴弘、三輪貴史、菊地一智、荒道昭男
医療法人サンプラザ 新札幌循環器病院 臨床工学科

O-177 輸液ポンプ・シリンジポンプのメンテナンス付きリースの検討

柳澤雅美、井上裕之、清水真樹子、赤井健太郎、川西恭輔、大谷直哉
国立病院機構 京都医療センター 臨床工学

O-178 見逃してはいけない医療機器管理(2)～シリンジポンプのリース契約による機種統一と経済的效果～

佐藤幸男、花岡正志、東郷好美、定 亮志、川岡卓幸、末廣茂文
大阪市立大学 医学部 附属病院 臨床工学部

O-179 トラブル対応の分類～月間報告書作成にあたり～

安藤勝悟、伊達麻友子、竹橋英人、浅海 宏、佐藤岳夫、五味正美
日本大学医学部附属板橋病院 臨床工学技士室

一般演題 ペースメーカー③ 15：00～16：00

座長 高橋秀暢（広島大学病院 診療支援部 臨床工学部門）
菊池雄一（岩手県立大船渡病院）

O-180 手術室における植込み型ペースメーカーの対応

添田 信、山崎隆文、熊井良一、高久太輝
亀田総合病院 ME 室

O-181 当施設における植込みディバイス挿入患者の手術時設定変更について

宮本聰史、岡原重幸、松崎尚康、吉山潤一、高橋秀暢
広島大学病院 診療支援部 臨床工学部門

O-182 ペースメーカーの新規植え込み患者に対する漏洩磁界調査の実施と患者への対応

中村拓生¹⁾、土井智文²⁾、白石大輔¹⁾、木原信也¹⁾、中田充生¹⁾、松藤昭宏¹⁾、速水 弘¹⁾、
岩井健二²⁾、大久保英明²⁾、三上修司²⁾、井上智夫²⁾
財団法人 甲南病院 六甲アイランド病院 中央臨床工学室¹⁾、
財団法人 甲南病院 六甲アイランド病院 循環器科²⁾

O-183 植込み型ペースメーカーでの設定電圧における電池電流と電池寿命の検討

関本 崇、石橋一馬、山地真寿、井口新一、小西洋介、辻本絢史、三浦晃弘、井上尚俊、
内田真寿美、井上 武
医仁会武田総合病院 臨床工学科 ME センター

O-184 心臓ペースメーカー業務育成計画の策定について

大谷太一、松平香織、野田雅美、朝藤直子、青木宏介、鈴木利哉、青柳和夫、相嶋一登
横浜市立市民病院 臨床工学部

O-185 320列 Area Detector CTによる植込み型心臓ペースメーカーの部分的電気的リセット現象の検討

松月正樹¹⁾、宮城英毅¹⁾、佐生 喬¹⁾、坂口直也¹⁾、牛島貴弘²⁾、永澤直樹²⁾、山尾覚一²⁾、岩田英城¹⁾
三重大学医学部附属病院 臨床工学部¹⁾、三重大学医学部附属病院 中央放射線部²⁾

一般演題 安全対策② 16:00~17:00

座長 村中秀樹 (ベルランド総合病院 診察技術部)
五十嵐茂幸 (福井県済生会病院 臨床工学部)

O-186 輸液ポンプの流量誤差に対して

石山裕通、鈴木義人、石田幸博、吉田昌弘、鈴木 肇、川島嘉享
磐田市立総合病院 臨床工学科

O-187 フリーフロー防止輸液セットの特性に関する検証

野沢義則、久保澤昌平、佐藤 光、花田 香、石川麻衣子、中村 洋、畠山絵梨香、小橋秀一、
岡本道孝

八戸市立市民病院 臨床工学科

O-188 輸液ポンプ閉塞圧アラームについての検討

佐藤智美、中前健二、竹中利尾、近藤裕香理、山本康数、神谷和志、稻垣雅志、古田邦彦、
筒井克宏、安藤貴昭、富澤 寛、乙守香代子
安城更生病院 臨床工学技術科

O-189 シリンジポンプのサイフォニング現象が起こる条件

梅澤東光¹⁾、加納 敬¹⁾、里野剛之^{1,2)}、佐藤敏夫³⁾、川島徳道³⁾
成和会西新井病院 臨床工学科¹⁾、桐蔭横浜大学大学院 工学研究科²⁾、桐蔭横浜大学 医用工学部³⁾

O-190 経腸栄養ポンプの日常点検の策定

真崎健吾、鈴木茂樹、近藤敏哉、八反丸善裕、宇佐見直、菊地真未、副島 徹、山口祐亮、
石井智樹、菅野将也、野口壯一、高倉照彦
医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 医療技術部 ME室

O-191 PCA (patient-controlled analgesia、患者自己管理鎮痛法) ポンプの保守管理

土谷勇吾、大森政幸、洞庭政幸、田中房枝、中川 透、高間俊輔、瓦谷義隆、荒木 忠、
青田恭朋、坪野浩之、水野琢呂、秋田利明
金沢医科大学病院 ME 部

5月22日(土) ◆第1日目 第7会場

一般演題 補助循環① 14:50~15:40

座長 大平順之 (兵庫医科大学病院 臨床工学室)

別所郁夫 (東邦大学医療センター大橋病院 臨床工学部)

O-192 改良型 IABP7Fr ショートバルーンの使用経験

樋口知之¹⁾、伊藤さやか¹⁾、池田 顕¹⁾、小山昌利¹⁾、市橋孝章¹⁾、西原裕幸¹⁾、春田良雄¹⁾、
長江宏則¹⁾、中野嘉久²⁾、植村祐介²⁾、浅野 博²⁾、味岡正純²⁾、加藤千英³⁾、筒井康弘³⁾、筒井宣政³⁾
公立陶生病院 臨床工学部¹⁾、公立陶生病院 循環器科²⁾、株式会社東海メディカルプロダクツ (TMP)³⁾

O-193 IABP バルーン容量の誤認識を経験して

関 智大¹⁾、須永健一¹⁾、高橋美恵¹⁾、田倉明子¹⁾、橋本貴紀¹⁾、平野智裕¹⁾、峠坂龍範¹⁾、
佐藤 浩¹⁾、葛西浩美¹⁾、清水茂雄²⁾、大友建一郎²⁾、大島永久¹⁾
青梅市立総合病院 臨床工学科¹⁾、青梅市立総合病院 循環器内科²⁾

O-194 IABP 駆動装置のカテーテルリンクに対する実験的評価

石原太輔、中本皓太、伊藤禎章、中村寿伸、鵜飼将平
京都市立病院 臨床検査科 臨床工学

O-195 腹腔鏡下直腸癌切除術に対し左腕頭動脈より IABP を施行した 1 症例

早速慎吾、東條圭一、藤井正実、木下春奈、武田章数、吉平 聰、外間信人、國香正見、
長村茂太
北里大学病院 ME センター部

O-196 7Fr・7.5Fr IABP バルーンと駆動装置の比較

堂野隆史、窪田將司、田中義範、山口和也、澤崎史明、河田修一、鷹橋 浩
市立旭川病院 臨床工学室

一般演題 補助循環② 15：40～16：10

座長 仲地勝弘 (中部徳洲会病院)

O-197 PCPS の安全管理 CDI500 を用いて

吉田雅人、斎藤亮輔、齊藤 建、五十嵐栄
心臓血管研究所付属病院 ME 管理室

O-198 補助人工心臓のバッテリーの管理に関して

梅田千典¹⁾、百瀬直樹¹⁾、草浦理恵¹⁾、小久保領¹⁾、安田 徹¹⁾、岩本典生¹⁾、中島逸郎¹⁾、
米田暁史²⁾、池田大作³⁾
自治医科大学さいたま医療センター臨床工学部¹⁾、ニプロ株式会社²⁾、瑞穂医科工業³⁾

O-199 東洋紡型補助人工心臓装置 4 症例の経験

倉島直樹、小堺 昭、山村晃光、広瀬夕紀、藤巻愛子、荒川茂久、榎本 豊
東京医科歯科大学附属病院 ME センター

一般演題 呼吸⑤ (呼吸管理) 16：10～17：20

座長 宗万孝次 (旭川医科大学付属病院 臨床工学室)

栗原大典 (広島市立安佐市民病院 ME センター)

O-200 チェーン・ストークス呼吸 (CSR) における ASV PSG 下 Manual Titration の経験

藤江建朗、青木良之、王高芳美、半田浩志、スギ本保
社会福祉法人 大阪暁明館病院 臨床工学科

O-201 チェーン・ストークス呼吸を伴う睡眠時無呼吸症候群に対する BiPAP (ASV) の使用経験

大前享子、中川啓司、長葭正浩、岩尾昌之
総合病院 中津川市民病院 医療技術部 医療機器管理科

O-202 睡眠時無呼吸症候群（SAS）患者における検査から治療までの診察サポート

山田一之¹⁾、武井泰彦²⁾、名和 健³⁾

日立製作所 水戸総合病院 ME センタ¹⁾、日立製作所多賀総合病院 内科²⁾、

日立製作所日立総合病院 呼吸器内科³⁾

O-203 循環器領域における睡眠時無呼吸症候群～疾患別有病率および解析結果について～

道越淳一、森田 真、古賀章太、清田佳久、片山浩二、西谷充司、鶴田 茂、大畠善治、

丹生治司

小倉記念病院 検査技師部 工学課

O-204 心臓手術後呼吸管理における Recruitment Maneuver および P/V Tool®の評価

配野 治、杉本 韶、高橋智宏、御法川直子、式田 侑

千葉中央メディカルセンター 臨床工学課

O-205 心原性肺水腫における機械的補助換気の検討

前中則武、竹浪延幸、金野 敦、奥田正穂、進藤尚樹、高平篤法

市立札幌病院 臨床工学科

O-206 新型インフルエンザにより発症した重症肺炎の経験

岩下裕一、増田善文、松本猛志、切畠屋智史、横田基次、小西康司、萱島道徳

奈良県立医科大学附属病院 病院管理課 医療技術係

⌚ 5月23日(日) ◆第2日目 第2会場

一般演題 呼吸⑥ (加温加湿) 9:00~9:50

座長 窪 孝充 (静岡県立静岡がんセンター MEセンター)
岩崎共香 (平塚共済病院 臨床工学科)

O-207 各種自動給水機能付き加温加湿モジュールの使用評価

梶原吉春、徳留大剛、吉野健二、添田規子、阿部結美、永田吾一、黒田真衣、岡澤智彦、
深町和彦、鈴木聖夫、谷本 直
東海大学 医学部付属 八王子病院 MEセンター

O-208 加温加湿器 MR850 と PMH7000H の評価

荒井慎吾、平林則行、植田 健、福岡昌起、森田雅教、又吉 徹
慶應義塾大学病院 医用工学センター

O-209 BiPAP Vision における加温加湿器 MR-850 の有用性について

興津健吾、佐藤景二、後藤 彰、興津英和、大隅 進、茶山 宣、勝又恵美、伊藤栄和
静岡市立静岡病院 臨床工学科

O-210 東機賀社製呼吸器回路 MG204 の環境影響

山崎琢也¹⁾、袴塚祐司¹⁾、小川 亨¹⁾、並木暢也¹⁾、三上孝宏¹⁾、石津 隆²⁾、多留賀功²⁾
つくばセントラル病院 ME室¹⁾、同 腎臓内科²⁾

O-211 INTERSURGICAL 社製カバー付き回路の有用性

江東里紗、井上博満、井上 崇、高橋章太、高橋真理子、鈴木 修、水盛陽子、柴田邦弘、
大崎英忠、織田みゆき、元良俊太
日産厚生会玉川病院 臨床工学科

一般演題 呼吸⑦ (使用経験・開発) 9:50~10:40

座長 三輪泰之 (埼玉医科大学 保健医療学部 医用生体工学科)
堀井 亮 (社会保険滋賀病院 臨床工学科)

O-212 人工呼吸器の加温加湿器性能評価に対する温湿度計測センサーキットの使用経験について

三好誠吾、貝山信秀
仙台赤十字病院 臨床工学技術課 ME室

O-213 人工呼吸器回路の変更に伴うコストの比較

大石浩貴¹⁾、金井佐帆¹⁾、武井朋巳¹⁾、赤間仁見²⁾、橋本直方³⁾
菊名記念病院 臨床工学科¹⁾、菊名記念病院 看護部²⁾、菊名記念病院 内科³⁾

O-214 ETCO₂センサー EMMA™の使用評価

阿部結美、梶原吉春、徳留大剛、添田規子、永田吾一、吉野健二、鈴木聖夫、黒田真衣、
岡澤智彦、深町和彦、谷本 直
東海大学 医学部付属 八王子病院 MEセンター

O-215 人工呼吸器アラームとナースコールの連動

野田房臣、西口博憲、谷口総志、濱洲穂積、坂本元子
球磨郡公立多良木病院

O-216 人工呼吸器遠隔監視システム APM-100 を改良した遠隔認識システムの開発

野口裕幸¹⁾、大石沙織¹⁾、黄川田信允¹⁾、上田真弓¹⁾、鎌田隆行¹⁾、坂本篤裕²⁾
日本医科大学付属病院 ME 部¹⁾、日本医科大学付属病院 麻酔科²⁾

一般演題 ペースメーカー④ 13:40~14:20

座長 今村博明 (枚方公済病院 臨床工学科)
藤原弘昌 (鳥取市立病院 臨床工学室)

O-217 当院におけるペースメーカー外来でのチェックテストプログラムの活用と有効性

高橋智宏、配野 治、塩澤清文、杉本 韶、御法川直子、式田 侑
千葉中央メディカルセンター 臨床工学課

O-218 ペースメーカー点検において患者自身による予約システムを導入して

長澤洋一、縮 友和、遠藤久美子、岡野隆浩、松任則夫
石心会 川崎幸病院 CE 科

O-219 ペースメーカー患者データの管理システム

多賀谷正志¹⁾、原 和信¹⁾、入船竜史¹⁾、小田洋介¹⁾、半田宏樹¹⁾、市川峻介¹⁾、石崎光理¹⁾、
川本俊治²⁾
独立行政法人国立病院機構呉医療センター 麻酔科 ME 管理室¹⁾、
独立行政法人国立病院機構呉医療センター 循環器科²⁾

O-220 訪問看護患者に対する在宅ペースメークフォローアップの試み

柏谷 肇¹⁾、川越 弦¹⁾、根本敏史²⁾、和泉千香子²⁾
市立横手病院 ME 室¹⁾、市立横手病院 循環器内科²⁾

一般演題 ペースメーカー⑤ 14:20~15:00

座長 小久保領 (自治医科大学附属さいたま医療センター 臨床工学部)
佐藤邦昭 (国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院 ME 科)

O-221 胸腔内インピーダンスマニタリングシステム OptiVol と BNP の相関が認められた 1 例

芳森亜希子¹⁾、多田和弘¹⁾、森口英明¹⁾、茂木 健¹⁾、川口幸大¹⁾、江澤由佳¹⁾、乙部友紀子¹⁾、
佐々木優二¹⁾、藤本善英²⁾、松戸裕治²⁾、関根 泰²⁾、氷見寿治²⁾
君津中央病院 臨床工学科¹⁾、君津中央病院 循環器科²⁾

O-222 ペースメーカー関連業務に関する臨床工学技士の係わり—体外式ペースメーカーの点検業務—

鈴木 完、大段 剛、福田賢二、下田遙菜、上原克子、鳥居一喜、東哲士人、堤 博志、
押山貴則、西堀英城、西山謙一、小林 力
昭和大学藤が丘病院 臨床工学部

O-223 遠隔モニタリングを用いた植込み型デバイス（PM・ICD）の管理について

山崎隆文¹⁾、熊井良一¹⁾、添田 信¹⁾、高久太輝¹⁾、鈴木 誠²⁾、長堀 亘²⁾、橋本裕二²⁾
医療法人 鉄蕉会 亀田総合病院 ME室¹⁾、医療法人 鉄蕉会 亀田総合病院 循環器内科²⁾

O-224 遠隔モニタリングシステム「CARELINK®」における送信スケジュール管理について

岡原重幸¹⁾、高橋秀暢¹⁾、宮本聰史¹⁾、松崎尚康¹⁾、吉山潤一¹⁾、小田 登²⁾、中野由紀子²⁾、
今井克彦³⁾
広島大学病院 診療支援部 臨床工学部門¹⁾、広島大学病院 循環器内科²⁾、
広島大学病院 心臓血管外科³⁾

⌚ 5月 23日 (日) ◆第2日目 第3会場

一般演題 安全対策④ (保守) 9:00~10:00

座長 三島博之 (九州大学病院)

宮本征士 (橋本市民病院 臨床工学室)

O-225 院内の電磁環境について—磁場放射と接地の調査—

長江祐吾、黒澤秀郎、久保 仁、玉井久義
東京大学 医学部 附属病院 医療機器管理部

O-226 医用電気機器の電磁的両立性の検証と臨床工学技士の業務

竹上晴規
独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター

O-227 アース接続点検用測定器（アースチェック EC-2000）を用いることで検出された接地不良電源

青木文明¹⁾、大沢光行¹⁾、別所郁夫¹⁾、森下正樹¹⁾、大江容子²⁾
東邦大学医療センター大橋病院 臨床工学部¹⁾、同 麻酔科²⁾

O-228 自作漏れ電流測定器の簡易校正方法についての検討

堀 純也、藤中正樹、川村真未、塙田賢志
岡山理科大学 理学部 応用物理学科 医用科学専攻

O-229 トルクドライバーを使用したメンテナンスの検討

津久井智彦¹⁾、内田祐司¹⁾、川邊 学¹⁾、藤江遼平¹⁾、鳴海敏行¹⁾、本多 仁¹⁾、山下芳久²⁾、
大濱和也¹⁾、鈴木洋通¹⁾
埼玉医科大学病院 血液浄化部¹⁾、埼玉医科大学 保健医療学部 医用生体工学科²⁾

O-230 低圧持続吸引器ホルダーを作成して

田野田孝喜
福岡市立こども病院・感染症センター 臨床工学部門

一般演題 人工心肺① 10：00～11：00

座長 千葉美樹（仙台市医療センター 仙台オープン病院 臨床工学室）
武島智隆（高知大学医学部附属病院 ME 機器管理室）

O-231 動脈フィルタ内蔵型人工肺モニタ製キャピオックス FX 使用時の回路構成

大石 竜、寺島敏晃、林 嘉仁、佐藤聖和、小卓也、山二綾子、野川悟史、佐藤宜伯
昭和大学横浜市北部病院 ME センター

O-232 鉗子操作による体外循環開始前的人工肺部の気泡発生に関する検討

前田 寿、早坂 啓
仙台循環器病センター 臨床工学科

O-233 当院の胸部大動脈瘤手術の体外循環法

石田 充、又吉盛博、山下卓弥、柴田祐樹、星野敏久
板橋中央総合病院 臨床工学科

O-234 患者体型による選択的脳灌流量の検討

八馬 豊、長澤洋一、遠藤久美子、浜松貴浩、岡野隆浩、今野智佳
石心会 川崎幸病院 CE 科

O-235 脳内酸素飽和度モニタと動脈血液ガス連続モニタが体外循環管理に有用であった1例

佐藤 尚¹⁾、大川 修¹⁾、布谷大輔¹⁾、五十嵐義浩¹⁾、藤井 曜¹⁾、玉城瑛信¹⁾、森 英輝¹⁾、
清水 徹¹⁾、村上 浩²⁾、小林俊也²⁾、幕内晴朗²⁾、館田武志³⁾
聖マリアンナ医科大学病院 クリニカルエンジニア部¹⁾、聖マリアンナ医科大学病院 心臓血管外科²⁾、
聖マリアンナ医科大学病院 麻酔科³⁾

O-236 動脈フィルタ内蔵型人工肺の使用経験

坂本亮太
千葉市立海浜病院 臨床工学科

一般演題 人工心肺② 13：40～14：30

座長 泉 祐一（新潟県厚生連 新潟医療センター 臨床工学）
小島英樹（久留米大学医療センター 臨床工学室）

O-237 人工心肺自動記録システム(ORSYS)のハードウェア更新の経験—ノート型からデスクトップ型へ—

西垣孝行^{1,2)}、林 輝行¹⁾、小川浩司¹⁾、四井田英樹¹⁾、高橋裕三¹⁾、吉田幸太郎¹⁾、西岡 宏¹⁾、
松本泰史¹⁾、峰崎純一¹⁾、石野直明¹⁾、立川洋輝¹⁾、染川将太¹⁾、人見泰正²⁾、水野松本由子²⁾
国立循環器病センター 手術部 臨床工学技士¹⁾、兵庫県立大学大学院 応用情報科学研究科²⁾

O-238 自動記録装置使用による省人化と安全性の向上

山本 桂、村中秀樹、茨田友香、窪田史子、伊藤裕美、武市和真、升田有葉
ベルランド総合病院 臨床工学室

O-239 頸動脈ステント留置術への臨床工学技士の関わり

高沼和幸¹⁾、横田大将¹⁾、小林正宏¹⁾、宮崎大介¹⁾、清水和明¹⁾、篠崎法彦²⁾、星野和夫²⁾
JA 長野厚生連 篠ノ井総合病院 臨床工学科¹⁾、篠ノ井総合病院 循環器内科²⁾

O-240 小児用体外循環シミュレーターの作製と使用経験

吉川貴則¹⁾、赤地 司²⁾、安武真一³⁾

福岡市立こども病院・感染症センター 臨床工学部¹⁾、帝京大学医学部付属病院 臨床工学部²⁾、泉工医科工業³⁾

O-241 小児体外循環において上大静脈酸素飽和度測定が意味するもの

堤 善充¹⁾、蓑田英明¹⁾、中田正悟¹⁾、青野宏美¹⁾、中島正一¹⁾、井福武志¹⁾、安永 弘²⁾、牧 盾³⁾
社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院 臨床工学室¹⁾、
社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院 心臓血管外科²⁾、
社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院 麻酔科³⁾

一般演題 手術室関連業務③ 14:30~15:00

座長 三原弘史 (洛和会 音羽病院 洛和会 CE センター)

O-242 電気メスの感覚的切れ味の検証

暮石陽介、谷 誠二、西川祐策、大田彩加、行光昌宏、岩田英城

三重大学 医学部 附属病院 臨床工学部

O-243 バイポーラコードのモノポーラへの誤接続対策について

保科充紀¹⁾、鈴木昭三¹⁾、愛知正嗣¹⁾、武田裕人¹⁾、橋本昌幸¹⁾、鈴木秀造¹⁾、青木紀二²⁾

社会福祉法人 聖隸福祉事業団 総合病院 聖隸三方原病院¹⁾、株式会社 セムコ²⁾

O-244 ラジオ波焼灼治療業務を開始して

鳥本倫之介、小林剛志、富永哲史、梅田雄一、片桐大輔、高橋恵美、野島純子、成瀬 真
平塚共済病院 臨床工学科

5月23日(日) ◆第2日目 第4会場

一般演題 教育・その他④ (ME 機器システム) 9:00~10:00

座長 横山嘉寛 (白石病院)

岡本 長 (金沢赤十字病院 臨床工学技術課)

O-245 少人数制 ME 機器講習会 (ME プロバイダ) 導入 3 年目の現状と今後の課題

花田琢磨、安野 誠、戸田久美子、岩崎 毅、佐藤孝二、米山和範、木内聰子、安藤かおり、
前田 恒、栗原里佳、中嶋 勉
群馬県立心臓血管センター 技術部 臨床工学課

O-246 立会い規制に伴う臨床工学技士業務の電子カルテオーダリングシステム導入と今後の動向
遠藤政人

国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院 臨床工学科

O-247 院内内視鏡システムの統一に向けた機器運用方法の検討
安藤知之、山田一之
日立製作所水戸総合病院 ME センタ

- O-248 当院臨床工学部の問題点と今後の課題—MEセンターを中心とした業務改善に向けた取り組み—
 玻名城牧子、嵩原正人、赤嶺史郎、赤嶺政安、神谷敏之、嘉数太志、長田苑子、向畠恭子、
 豊里友秀
 南部徳洲会病院
- O-249 医療機器教育への複合的アプローチ
 大田彩加、行光昌宏、岩田英城
 三重大学医学部附属病院 臨床工学部
- O-250 ME機器教育におけるME機器オリジナルテキストの有用性
 半田麻有佳、森實雅司、山田紀昭、小田尚子、木下香魚子、長谷川千恵、大石英治
 社会福祉法人 恩賜財団 済生会横浜市東部病院 臨床工学部

一般演題 教育・その他⑤（災害） 10：00～10：50

座長 岡本歌織（社会医療法人 近森会 近森病院 臨床工学部）
 岡田 悟（済生会神奈川県病院）

- O-251 災害時における県自治体の透析医療への危機管理意識～アンケート調査からの報告～
 播磨由佳子¹⁾、守澤隆仁²⁾、大沢元和³⁾、佐藤忠寛⁴⁾、小場幸恵⁵⁾、熊谷 誠³⁾
 JA厚生連 平鹿総合病院 透析センター¹⁾、花園病院 透析室²⁾、秋田赤十字病院 臨床工学課³⁾、
 JA厚生連 雄勝中央病院 透析センター⁴⁾、おのば腎泌尿器科クリニック⁵⁾
- O-252 アンケート結果からみる東京都区南部ブロック災害対策の現状
 高橋美香、村上織恵、柿沼 浩、中野 充
 昭和大学病院 ME室
- O-253 富山県透析医会の日本透析医会災害情報ネットワークへの参加
 松嶋尚志^{1,2)}
 市立砺波総合病院¹⁾、富山県透析医会 事務局²⁾
- O-254 浜松地区透析施設災害時ネットワークの今後の課題（震度4の地震を体験して）
 鈴木秀和¹⁾、水口智明²⁾、中村公也²⁾、中村直樹²⁾、山村明弘²⁾、柳田 仁²⁾、鈴木秀造²⁾、
 倉田成雅²⁾、寺谷裕樹²⁾、江間信吾²⁾、安本晃司²⁾
 聖隸三方原病院 CE室¹⁾、浜松地区透析施設災害時ネットワーク²⁾
- O-255 災害派遣医療チームにおける臨床工学技士の関わり
 永森信啓、米田陽子、領毛一雅、木下雄司
 独立行政法人 国立病院機構 金沢医療センター 臨床工学室

一般演題 管理・ソフト・解析装置等・その他④（管理・ソフト） 13：40～14：20

座長 石丸啓太（国立病院機構佐賀病院 麻酔科）
 木原将人（東芝林間病院 臨床工学科）

- O-256 電子カルテ導入に対する臨床工学技士の対応及び業務の反映に関して
 坂本亮輔、瀬古博之、中西理恵子、岩倉正朋
 新宮市立医療センター 臨床工学部

O-257 医療機器中央管理のIT化の試み

尾辻眞矢¹⁾、渡邊晴美¹⁾、高橋幸子¹⁾、宮本浩三¹⁾、土井 厚¹⁾、花隈 淳¹⁾、森下雄亮¹⁾、中井浩司¹⁾、澤田知広¹⁾、平手裕市²⁾、山内智子³⁾
名古屋掖済会病院 臨床工学部¹⁾、名古屋掖済会病院 心臓血管外科²⁾、名古屋掖済会病院 情報管理部³⁾

O-258 オープンソース・ソフトウェアを使用した臨床用機器管理システム

渡邊翔太郎¹⁾、菅原俊継²⁾、黒田 聰²⁾、木村主幸²⁾、有澤準二²⁾、有澤博明³⁾、樋口雅人³⁾、松崎智哉³⁾、坂 丈敏³⁾

北海道工業大学大学院 工学研究科 応用電子工学専攻¹⁾、

北海道工業大学 医療工学部 医療福祉工学科²⁾、医療法人社団 北腎会 坂泌尿器科病院³⁾

O-259 SaaS型ME機器管理システムを導入して

富永あや子¹⁾、後藤 悟¹⁾、遠藤 明²⁾、茅根 修³⁾
医療法人財団 さいたま市民医療センター 臨床工学科¹⁾、財団法人医療情報システム開発センター²⁾、
株式会社 日立情報制御ソリューションズ³⁾

一般演題 管理・ソフト・解析装置等・その他⑤（管理・ソフト） 14：20～14：50

座長 田代嗣晴（横浜労災病院）

O-260 医療機器標準コードを用いた医療機器管理業務の効率化

本田靖雅、井福武志、末次 寛、堤 善充、中島正一
社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院

O-261 RFIDアクティブタグを用いた機器管理システムの臨床応用に関する研究

関谷崇志¹⁾、田中陽平¹⁾、土谷周平¹⁾、関口 敦²⁾、森田高志²⁾、加納 隆¹⁾
埼玉医科大学 保健医療学部 医用生体工学科¹⁾、埼玉医科大学 国際医療センター MEサービス部²⁾

O-262 病棟用生体情報モニタ管理システム導入における臨床工学技士の取り組み

熊代佳景、福島 望、松下翔悟、山崎圭梨、島崎哲弥
富山市立富山市民病院 臨床工学科

5月23日（日）◆第2日目 第5会場

一般演題 透析⑨（無酢酸透析液） 13：40～14：20

座長 中村拓生（甲南病院六甲アイランド病院 中央臨床工学室）
泉田拓也（岩手医科大学付属病院）

O-263 セントラル方式による無酢酸透析液の使用経験

加藤勝久¹⁾、糸山晴彦¹⁾、三枝安芸¹⁾、林 勝美²⁾、川崎忠行²⁾、横田昌典¹⁾
前田記念大原クリニック¹⁾、前田記念腎研究所茂原クリニック²⁾

O-264 多人数用無酢酸透析液の臨床評価—SF-36を用いた評価—

熊切こず恵、手塚千絵、柴生田啓志、鈴木一哉、岸田真一、石丸昌志、内野順司、正井基之、
吉田豊彦
誠仁会 みはま病院

O-265 多人数用無酢酸透析液カーボスター P 使用時の機器管理—ニプロ社製多人数用透析液供給システムでの評価—

長谷川裕¹⁾、土屋正二¹⁾、内野順司²⁾、永川 修¹⁾、吉田豊彦²⁾

みはま佐倉クリニック ME 科¹⁾、みはま病院²⁾

O-266 多人数用無酢酸透析液カーボスター P 使用時の機器管理—日機装社製多人数用透析液供給システムでの評価—

松本和己¹⁾、黒川俊輔¹⁾、山本 淳¹⁾、内野順司²⁾、吉田豊彦²⁾

医療法人社団誠仁会みはま成田クリニック¹⁾、医療法人社団誠仁会みはま病院²⁾

一般演題 透析⑩（無酢酸透析液） 14：20～15：10

座長 志村貴之（岐阜中央病院 医療技術部 臨床工学課）

高橋満彦（原口内科・腎クリニック）

O-267 多人数用無酢酸透析液カーボスター P の使用経験～導入後半年を経過して～

渡邊徹義、熊切こず恵、石丸昌志、内野順司、正井基之、吉田豊彦

誠仁会 みはま病院

O-268 無酢酸透析液の使用経験

岩佐基子¹⁾、細野高志¹⁾、濱田悠佑¹⁾、柳沢裕介¹⁾、小原圭太¹⁾、宮川久美子¹⁾、奈良直子¹⁾、栗原正己¹⁾、本間 崇¹⁾、一之瀬方由利²⁾、千葉哲男²⁾

医療法人社団 善仁会 横浜第一病院 臨床工学部¹⁾、医療法人社団 善仁会 横浜第一病院 診療部²⁾

O-269 酢酸フリー透析剤カーボスター®による配管部材への影響についての長期検討

伊藤克佳、関原宏幸、品田和行、森田 拓、野村美歩、太鼓千恵、小宅育代、雨宮 均、奥山 寛、小林 力

昭和大学藤が丘病院 臨床工学部

O-270 味の素ファルマ社製カーボスター L の循環器領域での使用経験—呼気終末炭酸ガス濃度を測定しての評価—

長見英治¹⁾、石井利幸¹⁾、久我洋史¹⁾、牧之内崇²⁾、浅野達彦²⁾、石橋 聰²⁾、山内雅人²⁾、石川康朗²⁾、深尾 立³⁾

千葉労災病院 臨床工学部¹⁾、千葉労災病院 循環器科²⁾、千葉労災病院 病院長³⁾

O-271 透析液 pH 測定への水質分析計の応用

山本 淳、内野順司、吉田豊彦

医療法人 社団 誠仁会 みはま病院 ME 部

5月23日(日) ◆第2日目 第6会場

一般演題 透析⑪(評価・その他) 13:40~14:20

座長 新田展矢 (府中市立府中北市民病院)

森 諭司 (大和高田市立病院 人工透析センター)

O-272 非透析時の患者耳朵血流値の変化について

深澤 篤¹⁾、佐藤知晶¹⁾、阿部治朗¹⁾、草野八重子¹⁾、戸出法子¹⁾、金山浩子¹⁾、三浦 明¹⁾、
宮下美恵¹⁾、鈴木 敦¹⁾、鈴木利昭¹⁾、宮原隆明²⁾

医療法人社団昇陽会 阿佐谷すずき診療所¹⁾、株式会社ネクシス²⁾

O-273 透析患者における浮腫値の測定～高精度体成分分析装置 InBody を用いて～

近藤隆司¹⁾、熊谷有起¹⁾、戸田 孝¹⁾、佐貫健太郎¹⁾、西 宏行¹⁾、氏家一尋²⁾、河本紀一²⁾
日立造船健康保険組合 因島総合病院 透析センター¹⁾、日立造船健康保険組合 因島総合病院 内科²⁾

O-274 多発性嚢胞腎における体水分量評価の検討

伊豫田誠子¹⁾、柴田奈美¹⁾、田中雅之¹⁾、石綿清雄²⁾、諏訪部達也³⁾、乳原善文³⁾、高市憲明³⁾
虎の門病院分院 臨床工学部 血液浄化療法室 CE 科¹⁾、同 循環器センター内科・臨床工学部²⁾、
同 腎センター内科³⁾

O-275 全例ビタミンD投与をベースとしたCKD-MBD管理の実践

岡崎正信¹⁾、長岡迪生¹⁾、市川一誠²⁾
医療法人 長清会 長岡医院 透析室¹⁾、山形大学医学部附属病院 第一内科²⁾

一般演題 透析⑫(評価) 14:20~15:00

座長 刈込秀樹 (玄々堂君津病院 臨床工学科)

廣瀬 猛 (古河赤十字病院 臨床工学技術課)

O-276 旭化成クラレメディカル社製・血液浄化装置 ACH-Σ の臨床における操作性・安全性および除水精度の評価

下田遙菜、大段 剛、福田賢二、上原克子、鈴木 完、鳥居一喜、東哲士人、堤 博志、
押山貴則、西堀英城、西山謙一、小林 力
昭和大学藤が丘病院 臨床工学部

O-277 透析患者における体液量測定—InBody-S20 と MLT-50 での比較—

上野幸司¹⁾、菊池孝典¹⁾、白石 武¹⁾、直井恵子¹⁾、吉村 章¹⁾、山本尚史¹⁾、久野亜希子¹⁾、
久野宗寛¹⁾、佐々木信博²⁾、斎藤孝子²⁾、安藤康宏²⁾、草野英二²⁾
医療法人 宗心会 かわしま内科クリニック¹⁾、自治医科大学腎臓内科²⁾

O-278 透析患者における生体電気インピーダンス法の有用性について

明神健太郎、松田卓也、瀑布川義和、武田 功、三宅 晋、島津栄一
医療法人 仁栄会 島津病院 臨床工学部

O-279 透析モニター装置の波形が体位変換によって変化する理由

深澤 篤¹⁾、佐藤知晶¹⁾、山本乃之¹⁾、三浦 明¹⁾、宮下美恵¹⁾、鈴木 敦¹⁾、鈴木利昭¹⁾、多胡仁司²⁾
医療法人社団昇陽会 阿佐谷すずき診療所¹⁾、株式会社ジェイ・エム・エス²⁾

⌚ 5月23日（日）◆第2日目 第7会場

一般演題 高気圧酸素療法 13:40~14:20

座長 山口信彦（東芝病院 ME部）

O-280 当院におけるスポーツ外傷での HBO と ME の関わり

小田倉雅浩、梶田江利子、梅木秀一、田村 修、山口信彦
東芝病院 ME部

O-281 第二種高気圧酸素治療装置を用いた体外式ペースメーカーの高気圧曝露実験

岡崎史絃¹⁾、柳下和慶¹⁾、外川誠一郎¹⁾、加藤 剛²⁾、小島泰史³⁾、小宮正久¹⁾、芝山正治⁴⁾、
眞野喜洋¹⁾
東京医科歯科大学 医学部附属病院 高気圧治療部¹⁾、東京医科歯科大学 医学部附属病院 整形外科²⁾、
東京海上日動 メディカルサービス株式会社 第二医療部³⁾、駒沢女子大学 人間健康学部⁴⁾

O-282 HBOT は外陰部フルニ工症候群に効果があるのか

中島正一、日比野英利、井福武志
社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院 臨床工学室

O-283 脳梗塞における高気圧酸素療法の治療効果について

西野 希、瀬崎陽介、金子雅絵、高室昌司
湘南鎌倉総合病院 ME室

一般演題 管理・ソフト・解析装置等・その他⑥（その他） 14:20~15:10

座長 大宮裕樹（KKR 札幌医療センター）
東條圭一（北里大学病院）

O-284 PainVision を用いた電流知覚閾値（MPC）による末梢神経障害のスクリーニング—第3報—

五十嵐沙織¹⁾、川上崇志¹⁾、藤平雅紀¹⁾、三浦國男¹⁾、大崎慎一²⁾、永嶽嘉嗣²⁾
玄々堂君津病院 臨床工学科¹⁾、玄々堂君津病院 外科²⁾

O-285 臨床工学技士による医療安全から見たベッド等の管理

森田 猛、高道昭一、嶋岡健志、宮島哲也、山東奈津子、小林千里、倉石 俊
富山大学附属病院 医療機器管理センター

O-286 スリーブ内圧の実測による間欠的空気圧迫装置（IPC）の評価

中村直樹¹⁾、山村明弘¹⁾、柳田 仁¹⁾、中村光宏¹⁾、富田淳哉¹⁾、青島由記江¹⁾、三輪賢太郎¹⁾、
鈴木隆介¹⁾、木倉睦人²⁾、小林隆夫³⁾
県西部浜松医療センター 臨床工学科¹⁾、県西部浜松医療センター 麻酔科²⁾、
県西部浜松医療センター 産婦人科³⁾

O-287 医薬品注入コントローラー DRIPEYE の使用経験

吉原祐司、齋藤 暢、堀口光寿、渡辺仁志
新座志木中央総合病院 臨床工学科

O-288 臨床工学技士が関与する PCA ポンプを用いた疼痛管理システムの展開

藤岡未宇¹⁾、望月 仁¹⁾、古簾章裕¹⁾、小山春樹¹⁾、長嶺博文¹⁾、飯嶋哲也²⁾、松本雅彦^{1,3)}

山梨大学 医学部 附属病院 ME センター¹⁾、山梨大学 医学部 麻酔科²⁾、

山梨大学 医学部 心臓血管外科³⁾

ランチョンセミナー 1

5月22日(土) 第1会場 12:15~13:05

臨床現場の最前線で臨床工学校が感じた無酢酸透析液とは

座長 芝本 隆(医療法人秀和会 秀和総合病院 臨床工学校部)

演題1 透析液濃度調整の問題点とその対策～臨床工学校の立場から考える～

講師 吉本 裕(東京医科歯科大学医学部附属病院 血液浄化療法部)

演題2 無酢酸重曹透析液を2年間使用して、わかった臨床効果は～期待される効果は得られたか～

講師 橋本貴仁(清湘会記念病院 臨床工学校部)

共催 味の素製薬株式会社

ランチョンセミナー 2

5月22日(土) 第2会場 12:15~13:05

ペースメーカー心拍応答機能 ～透析中の徐拍への対応～

座長 中川孝太郎(横浜栄共済病院 ME科 主任)

講師 栗田康生(国際医療福祉大学三田病院 心臓病センター 准教授)

共催 日本光電工業株式会社

ランチョンセミナー 3

5月22日(土) 第3会場 12:15~13:05

心臓再同期療法におけるペーシング条件の至適化 QuickOpt の有用性

座長 住田晋一(横浜市立大学附属市民総合医療センター 心臓血管センター内科 臨床検査部 准教授)

講師 今井 靖(東京大学医学部附属病院 循環器内科・トランスレーショナルリサーチセンター 特任講師)

共催 セント・ジュード・メディカル株式会社

ランチョンセミナー 4

5月22日(土) 第4会場 12:15~13:05

透析液水質確保加算の意味と臨床工学技士の役割について

座長 川崎忠行 (前田記念腎研究所 茂原クリニック 臨床工学部 部長)

講師 内野順司 (医療法人 社団 誠仁会 みはま病院 ME部 部長)

共催 ニプロ株式会社

ランチョンセミナー 5

5月22日(土) 第5会場 12:15~13:05

積層型ダイアライザー (AN69膜) とMIA症候群改善の因果関係

座長 米山 貢 (望星平塚クリニック)

講師 倉賀野隆裕 (兵庫医科大学 内科学 腎・透析科)

共催 ガンブロ株式会社

ランチョンセミナー 6

5月22日(土) 第6会場 12:15~13:05

透析装置の自動化について

座長 峰島三千男 (東京女子医大臨床工学科)

講師 田岡正宏 (医療法人偕行会 名港共立クリニック 技士長)

共催 株式会社ジェイ・エム・エス

ランチョンセミナー 7

5月22日(土) 第8会場 12:15~13:05

市販ソフトを利用した透析支援システムの開発とその周辺

～臨床工学技士の立場からのデータ管理と合理化を目指して～

座長 小野淳一 (川崎医療福祉大学 医療技術部 臨床工学科 講師)

講師 森實篤司 (新生会第一病院 臨床工学部 科長)

共催 中外製薬株式会社

ランチョンセミナー 8

5月23日(日) 第2会場 12:35~13:25

オンライン HDF の有用性と安全性

座長 高橋 進 (特定非営利活動法人 腎臓病早期発見推進機構 理事長)

演題1 オンライン HDF 治療の有用性

講師 長宅芳男 (医療法人清陽会 ながけクリニック 理事長)

演題2 オンライン HDF 治療における DCG-03 の使用経験

講師 松本和広 (医療法人清陽会 ながけクリニック 技士長)

共催 日機装株式会社

ランチョンセミナー 9

5月23日(日) 第3会場 12:35~13:25

逆ろ過透析液による自動化透析装置の安全性・有効性

座長 山家敏彦 (社会保険中央総合病院 臨床工学部)

講師 大谷浩一 (松和会 池上総合病院)

共催 東レ・メディカル株式会社

ランチョンセミナー 10

5月23日(日) 第4会場 12:35~13:25

体外循環の事故は無くなるか?

—医工学側面からの体外循環の安全対策—

座長 関口 敦 (埼玉医科大学国際医療センター ME サービス部 課長)

講師 百瀬直樹 (自治医科大学さいたま医療センター 臨床工学部 副技師長)

共催 ニプロ株式会社

ランチョンセミナー 11

5月23日(日) 第5会場 12:35~13:25

医療にひそむリスクを考える

座長 川崎忠行 (前田記念腎研究所 茂原クリニック 臨床工学部 部長)

演題1 ヒューマンエラーとその対策～人間工学の立場から～

講師 小松原明哲 (早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 経営システム工学科 教授)

演題2 透析医療におけるリスクマネジメント

講師 栗原 恵 (慶寿会 さいたま つきの森クリニック 総括院長)

共催 協和発酵キリン株式会社

ランチョンセミナー 12

5月23日(日) 第7会場 12:35~13:25

チームで取り組むより安全な内視鏡外科手術

座長 関川智重 (四谷メディカルキューブ 臨床工学部 部長)

講師 今本治彦 (近畿大学医学部 外科 准教授)

共催 オリンパスメディカルシステムズ株式会社